

# NEWS LETTER

No.

16

2007  
DECEMBER

# リウマチ

Newsletter of Japan College of Rheumatology




有限責任中間法人

日本リウマチ学会



LOXONIN



※効能・効果、用法・用量および禁忌を含む使用上の注意等  
については添付文書をご参照ください。

鎮痛・抗炎症・解熱剤

薬価基準収載

**ロキソニン<sup>®</sup>**  
**錠/細粒**

創薬・指定医薬品 ロキソプロフェンナトリウム水和物製剤

0704 (0711)



製造販売元(資料請求先)

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1



非ステロイド性消炎・鎮痛剤

薬価基準収載

**モービック<sup>®</sup>**錠5mg・10mg

MOBIC<sup>®</sup> TABLETS 5mg・10mg (メロキシカム製剤)

創薬/指定医薬品

※効能・効果、用法・用量、禁忌および使用上の注意等  
については添付文書等をご参照ください。



販売元(資料請求先)

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1



製造販売元  
**Boehringer Ingelheim** 日本ベリンガー・インゲルハイム株式会社  
東京都品川区大崎2丁目1番1号

0704 (0711)



豊島良太

鳥取大学医学部整形外科

## 人工関節手術と感染

関節リウマチや変形性関節症に対して、わが国では年間10万件余りの人工関節手術が行われている。人工関節は失われた可動性と安定性を取り戻す手術であるが、感染という悲惨な結果をもたらすことがある。その頻度は、手術室の環境の整備や手術器具の進歩そして術期の感染予防処置などによって現在では0.5～1%という低い値となったが、皆無になったわけではない。

感染発生率は原疾患によって異なり、変形性関節症より関節リウマチで高いと報告されている。術後1年以内の早期感染の発生率は原疾患によって大きく変わらないようであるが、術後数年を経過した時期に発生する晩期感染は関節リウマチで多いと報告されている。この晩期感染は、治療のため使用された各種薬物、中でも副腎皮質ステロイドによる免疫抑制の結果生じた感染巣からの血行感染が原因と考えられている。したがって、関節リウマチでは人工関節の晩期感染の可能性を医師、患者ともに認識し、感染リスクを増す副腎皮質ステロイドは必要最小量にとどめる努力をすべきと考える。

近年、TNF- $\alpha$ の作用を阻害する生物学的製剤が使用可能となり、関節リウマチの治療は寛解をめざすまでに進歩した。他方、TNF- $\alpha$ は感染防御に重要な役割を果たすことから、TNF阻害薬の使用により術後感染の発生率が上昇するおそれがある。事実、TNF阻害薬が関節リウマチ手術の早期感染の発生率を高めたとする報告がある。その一方で関節リウマチの足関節・足部手術において、TNF阻害薬は感染発生率に影響を及ぼさなかったとの報告もあり、いまだ結論は得られていない。ましてや、TNF阻害薬の晩期感染の発生に及ぼす影響に関する報告は未だ見当たらない。ところが、人工関節手術を受け数年経過した後にTNF阻害薬を投与した症例に晩期感染が発生したとの報告がある。したがって、TNF阻害薬も副腎皮質ステロイドと同様に早期感染に関与する可能性は低いが、晩期感染のリスクとなる可能性は高く、患者指導と注意深い経過観察が必要と考えられる。



JCR 2008  
Sapporo

# JCR2008

## 第52回日本リウマチ学会総会・学術集会 第17回国際リウマチシンポジウム

会期: 2008年4月20日(日)~23日(水)  
会長: 小池隆夫 (北海道大学大学院医学研究科内科学講座・第二内科 教授)  
会場: ロイトン札幌、北海道厚生年金会館、札幌市教育文化会館

### ■主な日程

- |           |   |           |                                   |
|-----------|---|-----------|-----------------------------------|
| ●4月20日(日) | 8:30~16:30 Annual Course Lecture        | ●4月22日(火) | 8:00~18:00 第52回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会 |
|           | 10:00~12:00 市民公開講座                      |           | 9:30~17:30 国際リウマチシンポジウム           |
|           | 13:00~16:00 理事会                         |           | 18:00~20:00 イブニングセミナー             |
|           | 16:30~18:30 評議員会                        |           |                                   |
|           | 19:30~21:30 会員懇談会                       |           |                                   |
| ●4月21日(月) | 8:00~18:00 第52回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会       | ●4月23日(水) | 8:00~17:00 第52回(中)日本リウマチ学会総会・学術集会 |
|           | 9:30~11:45 社員総会、プレナリーレクチャー、学会賞授賞式・受賞者講演 |           |                                   |
|           | 15:00~17:30 国際リウマチシンポジウム                |           |                                   |
|           | 18:00~20:00 イブニングセミナー                   |           |                                   |

### ■主なプログラム

#### 1) シンポジウム

2008年4月21日(月)~23日(水)

北海道厚生年金会館 第1会場(大ホール)、札幌市教育文化会館 第2会場(大ホール)、ロイトン札幌 第3会場(エンプレスホール)

シンポジウム 1	抗TNF療法の展望	シンポジウム 9	膠原病の難治性臓器病変への対応
シンポジウム 2	自己免疫疾患の機序	シンポジウム10	リウマチ関節手術療法の新展開
シンポジウム 3	血管炎症候群研究の進歩	シンポジウム11	小児リウマチ性疾患の難治性病態
シンポジウム 4	全身性エリテマトーデスの病態解明	シンポジウム12	イムノロジーからリウマトロジーへのメッセージ
シンポジウム 5	リウマチ診療における画像診断学	シンポジウム13	関節リウマチ病態解明のトピックス
シンポジウム 6	変形性関節症の基礎と臨床	シンポジウム14	関節リウマチの予後改善のために
シンポジウム 7	新規生物学的製剤:抗TNE療法を超えるか?	シンポジウム15	自己抗体研究の進歩
シンポジウム 8	レスピラトロジーからリウマトロジーへのメッセージ		

#### 2) JCRアニュアルコースレクチャー2008

2008年4月20日(日) 北海道厚生年金会館 第1会場(大ホール)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 「リウマチ性疾患の基本的診察法」<br>演者: 松本美富士<br>(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 教授)                            | 5. 「リウマチ性疾患における眼病変」<br>演者: 白井正彦<br>(東京医科大学眼科学 名誉教授)                              |
| 2. 「関節リウマチに対する薬物療法 -薬剤選択と副作用-」<br>演者: 宮坂信之<br>(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科膠原病<br>リウマチ内科学 教授) | 6. 「血清反応陰性脊椎関節症の診断と治療」<br>演者: 小林茂人<br>(順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院膠原病内科<br>准教授)            |
| 3. 「関節リウマチに対する手術療法 -適応とタイミング-」<br>演者: 織田弘美<br>(埼玉医科大学整形外科 教授)                        | 7. 「シェーグレン症候群とその合併症の診断と治療」<br>演者: 住田孝之<br>(筑波大学大学院人間総合科学研究科先端応用医学<br>専攻臨床免疫学 教授) |
| 4. 「リウマチ性疾患における皮膚病変」<br>演者: 宮川幸子<br>(奈良県立医科大学皮膚科学 名誉教授)                              |  |

**3) その他**

- ・ワークショップ 40セッション ※1 演題10分（発表7分、質疑応答3分）
- ・ポスターセッション 5セッション
- ・ランチョンセミナー 23セッション
- ・イブニングセミナー 4セッション
- ・市民公開講座 1講座

**4) 一般演題募集カテゴリー**

01 関節リウマチの病因・病態	20 軟骨・滑膜
02 リウマチ性疾患の臨床検査	21 骨粗鬆症と骨代謝
03 リウマチ性疾患の画像	22 サイトカイン・ケモカイン
04 関節リウマチの予後予測因子	23 強皮症の病因・病態
05 関節リウマチの関節外病変	24 強皮症の臨床
06 関節リウマチの治療：DMARDs・NSAIDs	25 シェーグレン症候群の病因・病態
07 関節リウマチの治療：インフリキシマブ	26 シェーグレン症候群の臨床
08 関節リウマチの治療：エタネルセプト	27 多発性筋炎・皮膚筋炎
09 関節リウマチの治療：トシリズマブと新たな生物学的製剤	28 抗リン脂質抗体症候群
10 関節リウマチの手術：上肢	29 リウマチ性疾患の手術療法
11 関節リウマチの手術：下肢	30 血管炎
12 関節リウマチの手術：脊椎	31 リウマチ性疾患の動物モデル
13 SLEの病因・病態	32 自己抗体
14 SLEの臨床	33 IgG4と自己免疫疾患
15 ループス腎炎	34 autoinflammatory disorders
16 NPSLE	35 その他の膠原病（ベーチェット病、血清反応陰性関節炎などを含む）
17 変形性関節症	36 リハビリテーション
18 小児の膠原病および若年性特発性関節炎	37 リウマチ性疾患と感染症（肺以外）
19 リウマチ性疾患の肺病変	

**■参加登録費について**

学術集会事前参加登録費 15,000円	アニュアルコースレクチャー 5,000円	会員懇親会（事前予約制） 3,000円
学術集会当日参加登録費 17,000円		

参加登録の方法、会員懇親会の事前予約のお申込みなど、総会参加への詳細につきましては、学術集会ホームページでご案内いたします。（会員懇親会については当日受付もごさいますが、定員を超過した場合は、事前お申し込みの方を優先させていただきますので、予めご了承下さい）

ホームページ：<http://www.jcr2008.com/>

**■学術集会事務局からのお知らせ****◇演題募集終了のご報告**

演題募集は11月29日(木)で締切られました。会員各位の多大なるご協力を得まして多くの演題が集まりましたことを学術集会事務局一同、厚く御礼申し上げます。年末年始にかけて、抄録の査読、プログラム編集作業へと入ってまいります。

\* ワークショップ・ポスターの演題振り分けは学術集会事務局にご一任下さい。

## ◇採択通知について

2月上旬頃にはがきにて通知いたします。  
その他ご案内は随時ホームページをご確認下さい。

## ■学会賞について

リウマチ学の更なる発展のために名実共に最高の権威である「学会賞」(1名)の副賞を2008年度より300万円にアップしました。年齢40歳未満の有為な研究者を対象とする「奨励賞」(3名)についての副賞は10万円に据え置きとしています。なお、学会賞受賞者は第52回JCR総会・学術集会において受賞記念講演を行う予定です。

## ■連絡先

### ◇学術集会事務局/国際シンポジウム事務局

北海道大学大学院医学研究科 内科学講座・第二内科  
〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目  
TEL: 011-706-5915 (内線)5915-5917 FAX: 011-706-7710 E-mail: jcr2008@med.hokudai.ac.jp

### ◇運営事務局

札幌コンベンションサービス㈱  
〒063-0861 札幌市西区八軒1条東1丁目5-13-803  
TEL: 011-738-5528 FAX: 011-738-3504 E-mail: kirayama@scs-co.jp

### ◇学会本部事務局

有限責任中間法人 日本リウマチ学会  
〒105-0001 東京都港区虎の門1-1-24 第一オカモトヤビル9階  
TEL: 03-5251-5353 FAX: 03-5251-5354 E-mail: gakkaim@ryumachi-jp.com

# 第17回 国際リウマチシンポジウム

～2008年開催に向けて～

第17回国際シンポジウムは、小池会長のもと、札幌で開催されます。1998年、小池会長が主催された第8回国際抗リン脂質抗体会議で発表されたSapporo criteriaは、札幌の名前を広くRheumatologistに知らしめました。このことから、国際的に札幌大会に対する期待が大きいと感じております。

小池会長のご意向から、昨年度の5セッションから3セッションに的を絞って、1) Current Progress in RA, 2) Lupus and autoimmunity, 3) Current progress in OAの3テーマと致しました。病態、診断、最新治療のトピックスがそれぞれの領域のエキスパートによって講演されます。RAでは、ここ数年の病態の研究の流れを作った喫煙とRAの関連についてキャロリンスカ研究所のKlareskog教授、COX-2阻害薬の最新情報をSingh教授、画像評価をLandewe先生、最新の生物学的製剤治療をKay先生、JIAの生物学的製剤による治療を横田教授にご講演いただく予定です。

Lupus関連では、Shoenfeld教授、桑名先生、Krilis教授

## 竹内 勤

JCR国際委員会 委員長  
(埼玉医科大学総合医療センター  
リウマチ・膠原病内科)



Lahita先生が講演を担当し、自己免疫疾患の病態やそれに関与する自己抗体研究の進歩について議論が展開される予定です。

OAのセッションでは、基礎研究、OA関連遺伝子、画像診断、日本のOA研究の最前線、治療に関し、Sandell教授、池川教授、Eckstein教授、石黒教授、Lohmander教授が最新のトピックスを講演される予定です。

札幌で開催される国際シンポジウムで、世界のリウマチ学の進歩を感じ取っていただければ幸いです。多くの先生方のご来場をお待ち申し上げております。

**The 17th International Rheumatology Symposium**

Date : April 21-22, 2008

Venue : Royton Sapporo Highness Hall

N-1, W-11, chuou-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0001, Japan

TEL : +81-11-271-2711

JCR Committee on International Affairs

Japan College of Rheumatology (JCR)

Okamotoya Bldg. 9F 1-1-24 Toranomon, Minato-ku, Tokyo 105-0011, Japan

TEL : +81-3-5251-5353 FAX : +81-3-5251-5354

E-Mail : jcr@ryumachi-jp.com URL : <http://www.ryumachi-jp.com/english/index.html>**Tentative Program****Session 1 (Apr. 21, 15 : 00~17 : 30)****Current Progress in RA**

Chairs : Tsutomu Takeuchi, Jonathan Kay (planned)

**Speakers**

1. Lars Klareskog (Karolinska University Hospital, Sweden) ...Genes, environment and immunity in the development of rheumatoid arthritis
2. Gurkirpal Singh Sehgal (Stanford University School of Medicine, USA) ...Current progress of coxibs
3. Robert B. M. Landewe (University Hospital Maastricht, Netherlands) ...Imaging and radiographic measurement in Rheumatic diseases
4. Jonathan Kay (Rheumatology Unit Massachusetts General Hospital) ...New biological agents in RA treatment
5. Shumpei Yokota (Yokohama City University, Japan) ...Biologic Response Modifiers for Children with Juvenile Idiopathic Arthritis

**Session 2 (Apr. 22, 9 : 00~12 : 00)****Lupus and autoimmunity**

Chairs : Takao Koike, Robert Lahita

**Speakers**

1. Yehuda Shoenfeld (Sheba Medical Center, Israel) ...Pathophysiology of autoimmune disease
2. Masataka Kuwana (Kelo University, Japan) ...Platelet and autoantibodies
3. Steven Krilis (St. George Hospital, Australia) ...Mechanisms of thrombosis in antiphospholipid syndrome
4. Shozo Izul (University of Geneva, Switzerland) ... (to be announced later)
5. Robert Lahita (St. Vincent's Hospital, USA) ...Lupus and autoimmunity : Future

**Session 3 (Apr. 22, 15 : 00~17 : 30)****Current Progress in Osteoarthritis**

Chairs : Kozo Nakamura, Stefan Lohmander

**Speakers**

1. Linda Sandell (Washington University, USA) ...What's new in OA basic research
2. Shiro Ikegawa (SNP Research Center, RIKEN) ...Susceptibility genes for osteoarthritis
3. Felix Eckstein (Paracelsus Private Medical University, Austria) ...Recent progress in imaging based measures of OA
4. Naoki Ishiguro (Nagoya University Graduate School of Medicine) ...Recent progress of OA in Japan
5. Stefan Lohmander (Lund University Hospital, Sweden) ...Treatment of OA : update



吉川 秀樹

大阪大学大学院医学系研究科  
器官制御外科学(整形外科)講座

## 100年を超えて残るもの

1895年の暮、ドイツのビュルツブルグ大学の研究室において世紀の大発見がなされました。物理学者ウィルヘルム・コンラッド・レントゲン（当時50歳）は、未知の線が物質を透過し、本やアルミニウムは透過するが、鉛は透過できないことを発見しました。妻の手の骨のX線写真を添えて、「新しい種類の線に関する研究、第一報」と題する論文を投稿しました。即ち、X線を使うことにより、その透過度の差により、目に見えない体内の構造を像として写し出すことに初めて成功したのです。

このX線写真は、現代のものと比較しても、それほど遜色なく、リウマチや骨腫瘍などがあれば、十分描出できる画像であります。このセンセーショナルな発見に対し、『驚嘆すべき科学上の大発見』と称賛する学者、「神を冒瀆するものである」との中傷、『私は、もっと以前に実験でX線を観察していた』といった妬みなど、様々な称賛、非難が世界中を交錯しました。

1901年、ノーベル賞が発足した時、この医学・物理学の大発見に対し、当然のことながらレントゲンは第一回ノーベル物理学賞を受賞しました。この未知の線を「レントゲン線」と命名することを多くの学者が提案しましたが、レントゲンは『自然現象に個人の名前をつけることは好ましくない』という態度に終始し、『X線』と呼ぶことに固執しました。

さらに、このX線撮影装置に対し特許を取得せず、功利的な欧米人たちを不思議がらせました。そのお陰で、米国の工業界は、安価な撮影装置を製作販売することができ、短期間に全世界に普及させることができました。

その結果として、110年を経た現在でも、骨や肺の診断において最も信頼される画像として使用され続けております。われわれ整形外科医も、『レントゲンを撮りましょう』などと、彼の意志に反して自然に彼の名を使っているのは、その発見があまりに偉大であったためでしょう。

ここにレントゲンの業績、人格を改めて尊敬するとともに、100年を超えて残るものを一つでも生み出していきたいと考えます。



### 開業医からの視点

金山 良春  
金山内科クリニック  
大阪市天王寺区

#### 「治る」という言葉の力

最近、血管炎症候群の患者さん2名が、入院治療により血管炎は改善したとのことで外来での治療の継続のために相前後して紹介されて来院されました。確かに両名の方の血管炎は改善していました。しかし、血管炎に伴う末梢神経障害に起因すると思われる上下肢のシビレ感と疼痛を強く訴えられており、痛みのために眠りがとれないなどのQOLのかなりの低下が推察されました。それぞれの入院先の主治医の先生には「この末梢神経の障害による症状は治らない」と云われたとのことで、この辛い症状が永く持続すると思うと耐えられないとの訴えでした。私は、「半年、1年と長くかかるかもしれませんが、末梢神経障害も修復する可能性がありますから、気長に頑張らしましょう」と励まして、一人の方には定番のビタミンB<sub>12</sub>製剤、ノイロトロピンに加えて抗テンカン薬のクロナゼパムを、もう一人の方はすでにクロナゼパムが投与されていたので神経性疼痛には効果が高いとされている抗テンカン薬のガバペンチンを追加投与して（保険適用外使用、SSRIのパロキセチンやアミトリプチリン等の三環系抗うつ薬をさらに追加することもあります）経過をみていましたが、一人の方は4ヶ月でほぼ症状は消失しています。もう1人の方も約2ヶ月経過していますが症状は半分位に軽快してきているので気分的にも随分明るくなられたように見受けられます。上の例では、患者さんにとって症状そのものも辛

いわけですが、その症状が「治らない」ということが更に精神的負担を増大させていたことが窺えました。一方、「治る」という言葉が患者さんに与える力について、私の経験した2つの事例についてお話ししたいと思います。

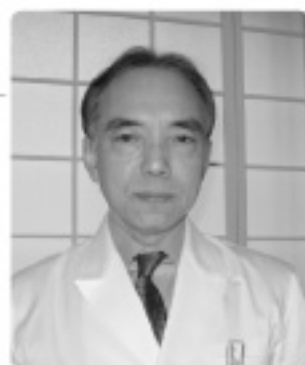
##### <事例1>

私の研修医時代（35年前）に脳卒中により左半身麻痺を呈した60歳の男性が他院より転院されてきました。他院では1ヶ月間全くりハビリはなかったとのことで、内心回復は難しいのではと思いましたが、口では「治りますから、左手を動かすよう神経を集中させてください」と云って1週間ベッドサイドで他動的に指を動かしていました。1週間後病室へ行くと、拇指が僅かに動いたとのことで大喜びされていました。その後は益々リハビリに励まれ、上肢に次いで下肢も動くようになり、3ヵ月後には杖歩行ながら自力で退院される姿をみて、意思の力の強さに感銘を受けた記憶があります。

##### <事例2>

長女が高2の時、長女の友人の父親が肝癌で、主治医からは余命1年半と云われたとのことで、母親が相談に見えたことがあります。CTでは明らかに進行した肝癌で、私も主治医と同意見でしたが、「肝癌は意外と延命される方もあるので、ご主人を励まして一緒に頑張ってください」と励ましました。長女から友人の父上が亡くなったと聞かされたのはそれから12年もたった時で、これには本当に驚きました。娘さんの結婚も見届けることが出来たそうです。

上の2つの事例は、患者さんが治るかもしれないという希望をもつことが、いかに大きな回復への力を発揮するかということを示しています。薬効やインターベンションの効果を検定するにはRCTなどでブラシーボ効果などを厳密に排除することは必要ですが、個々の治療場面では、ブラシーボ効果であれば良い訳です。「治る」と云った以上、治療者もなんとか治る方向で常に努力することが求められるわけです。治療側の負担は大きくなりますが、なんとか患者さんを治そうというのが医の原点ですから頑張りたいと思います。



# 第71回米国リウマチ学会議 (American College of Rheumatology 71st Annual scientific meeting [ACR 2007]) に参加して

東海大学医学部内科学系リウマチ内科学  
諏訪 昭

ボストンにおいて、2007年11月6日—11日の日程でACR 2007が開催された。「Pre-conference」の2日間に「Clinical Research Conference」「Basic Research Conference」「Review Course」が行われ、ついで4日間「Scientific Program」が行われた。同時開催のARHPとあわせた演題採択率は71% (2989題中2128題)で、うち日本人の演題は約150題であった。15年前にボストンで開催されたACRにおける日本人の演題は20-30題であり、JCR会員の発表演題数は飛躍的に増加した。

「ACR State of the Art」では、ノーベル賞受賞者のPhillip A. Sharp博士がマイクロRNAの生物学と治療応用について講演を行った。マイクロRNAは蛋白質生産コードを持たない遺伝子であるが、RNA干渉の過程で蛋白質を作る遺伝子のスイッチをオンオフして遺伝子表現をコントロールする。マイクロRNAの研究は病因追求や治療法開発への発展が期待される。また、自己免疫疾患に関わるT細胞サブセットのheterogeneityやTh17細胞の制御機構、Th17細胞の炎症における役割など、Th17細胞関連の演題が多くみられた。

関節リウマチ (RA) 治療における生物学的製剤の将来展望を示す興味深い演題が多く発表された。Susan Leeらは3年以内にTNF阻害薬を開始したRAでは中止後も効果が持続することを示した。Van Der KooijらはBeSt試験4年目の成績から、早期RAに対する積極的なインフリキシマブ投与が早期の寛解達成と骨破壊抑制をもたらし、将来離脱も可能となることを示した。また、Christopher EdwardらはRA患者の脳血管障害発症率比が1.65と高いこと、Anna Sodergrenらは治療無反応RA患者では頸動脈壁肥厚が短期間に進行することを示した。一方で、Gurkirpal SinghらはTNF阻害薬とMTXの併用によるRA患者での急性心筋梗塞リスクの低下を示した。TNF阻害薬が生命予後改善にも恩恵をもたらす可能性が示唆



▲South Boston Seaport地区に新たに建設されたコンベンションセンターの外観

された。

ボストンは、米国北東部マサチューセッツ州の州都であり、建国の歴史が色濃く残る。朝夕の冷え込みが厳しい晩秋であったが、ボストン・レッドソックスのワールドシリーズ優勝の熱気が冷めやらず、2つの赤い靴下をあしらったロゴデザインを街中で目にすることができた。次回のACR2008は、サンフランシスコで開催予定である。



▲学会場(天野宏一ニュースレター編集長(埼玉医大総合医療センター)と著者)

**開業医からの視点**

桃井 康晴  
ももい整形外科  
東京都中野区

**整形外科プライマリ・ケア医とメトトレキサート・生物学的製剤**

生物学的製剤の出現により、リウマチ治療のめざましい進歩を実感できる時代が到来しました。横浜で行われた今年（2007年）のJCR総会シンポジウムで、荷重関節においても生物学的製剤の使用により関節裂隙が修復される可能性があるという講演を聴き、驚愕すると同時にその素晴らしい効果に大変感激しました。一昔前であればリウマチ治療はどこでも同じ（どこでも治らない？）でしたから 大学病院でも開業医でも薬物療法は特に違いが無かったと思います。しかしメトトレキサート（MTX）が使えるようになり、さらには次々と生物学的製剤が治療に導入されつつある今、リウマチ科を標榜する人口集中地域のプライマリ・ケア医ではリウマチ患者さんの治療はどこまで行うのが妥当なのでしょう？

私の診療所は近隣に多くの大病院がある東京の城西地区（中野区）にあり、整形外科・リウマチ科・リハビリ科を標榜しています。診療は主に整形外科のプライマリ・ケアであり、その中で多くのリウマチ患者さんにお会いしています。リウマチの患者さんを見いだし、その初期治療を行い症状が改善していくのをみるのは大変嬉しい事です。

近年、当院では従来のDMARDsでは炎症がおさまらない患者さんに積極的にMTXを単独または追加使用しており、その素晴らしい効果には驚かされています。数は少ないですが現在30名ほどの患者さんにMTXを投与し経過をみております。ただ我が国で保険適応とされている用量では症状が改

善しない方も結構おり、このようなとき増量することで劇的に炎症が自他覚所見共に改善される事をしばしば経験し、週8mgを超える量のままで経過をみている症例も増えてきました。それでも関節炎が増悪する若い患者さんの場合は、生物学的製剤の適応でしょうが、現実的には経済的な問題などで使えないことも多くMTX治療を継続しているのが現状です。注射投与が必要な生物学的製剤については、経済的な問題がない場合でも副作用等を考慮し、より高度な検査治療体制がある大病院に紹介し連携をとりながら治療を行うのが当診療所の診療圏では最善であろうと思っています。

週8mgを超える量でMTXを使うことにはいろいろ問題があるのは承知しておりますが、現実には適応以上の量で使用している施設も多いのではないのでしょうか。JCRには是非、MTXの保険適用量を欧米並みの基準に増量できるようご尽力いただきたいと思います。

整形外科のリウマチ実地医であっても 症状に年齢や経済的な問題を考慮した上で、生物学的製剤を使用する前にプライマリ・ケアのなかで十分なMTX治療まで実践していくことが必要と考え、今後もそのようにしていくつもりです。



当院よりみた新宿ビル群

## 2007年度JCR理事会報告 ..... (中)日本リウマチ学会 理事長 小池 隆夫

2007年度第3回(中)日本リウマチ学会理事会を8月31日(金)に開催し、次の事項が承認・審議・報告された。

### 1. 承認事項

- 1) 2007年度第2回理事会(6月29日)議事録について、異議なく承認された。
- 2) 2007年度教育施設(新規・更新)の認定承認の件  
教育施設認定委員長から更新該当160施設うち辞退9施設、不承認1施設で150施設の更新を認め、新規では39施設の申請があり1施設については常勤の指導医(または専門医)がいなかったことから不承認としたことの説明があり、委員会案のとおり承認された。なお、教育施設が1施設のみをなくすことに努めてきたが、和歌山県は2施設となったが、滋賀県のみが1施設のままとなっているので、引き続き支部長の協力を得て教育施設増に努めると共に、2施設の県についても拡充を図っていき、今後は図書室等の施設内容についても検討すべきではないかという意見があることが述べられた。

### 2. 審議事項

- 1) 第51回学会総会・学術集会の結果報告  
第51回学会総会・学術集会龍順之助会長から学術集会の結果が報告された。参加者は4,348名で一般会員、初級臨床研修医、コメディカル、医学部生等の区分により参加料に差を設けた。プログラムの結果概要報告につづき収支報告が行われ、本収支報告書については、小見山公認会計士による独立監査人の監査を受け報告書を添付していることが報告され、第51回学術集会の収支報告書は承認された。
- 2) 第52回学会総会・学術集会の運営要綱及び準備状況について  
第52回学会総会・学術集会小池隆夫会長から運営要綱と準備状況が報告された。前回の理事会でプログラムの骨子を報告したが、これを実際に詰めている現況で、具体的にはランチョン・イブニングセミナー・展示等の募集を行い、ほぼ骨格ができあがった状況であること、また、第17回国際シンポジウムについては、国際委員会との調整において、第16回(横浜)では5つのテーマで行われたが、3つのセッションに縮小して、第52回学術集会全体の予算の中に組み込んで開催する考えであることが報告された。
- 3) 利益相反委員会規則(案)及び利益相反に関するポリシー  
前回の理事会から継続審議となっていたが、今回、一部修正を加え次のような(案)が再提出された。  
(1) 委員会は、理事長・副理事長を中心とした委員構

成とする。(JCR利益相反委員会規則第3条)

- (2) 効率的な運営のため、持ち回り審議の条文を入れる。(同規則第6条第6項)
- (3) 当面、利益相反開示を必要とする委員会は、抗リウマチ薬市販後特別調査委員会、リウマチ疾患治療薬検討委員会、レフルノミド肺障害調査検討小委員会とする(利益相反に関するポリシー第2条第2項)。  
理事長より本件は重要な問題であるので、理事より提案のあった問題点を再修正して頂き、今一度理事会の持ち回りで審議し、最終案を次回提示したいとの報告が行われた。

### 3. 報告事項

各委員長より2007年度事業進捗状況についての報告が行われた。

### 4. その他報告事項

- 1) 医薬品医療機器総合機構における臨床医学系審査専門家の派遣(要望)  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)審査センター長から「社会的要請に応えるべく、治験相談や承認審査体制の充実強化に努めているところであるが、近年医薬品医療機器のグローバル開発の進展の中で、国際共同治験に日本も積極的に参加し、世界同時開発・同時承認を目指す動きも活発化してきている。当機構としても審査専門家として臨床医学の専門知識を有する人材を確保することが必要となっている。については臨床医学系審査専門家の派遣について配慮願いたい旨の依頼があった。理事長は、新薬申請の多い当学会としては生物学的製剤、あるいは抗リウマチ薬の審査積み残しが多いことは少なからずリウマチ治療に影響を及ぼすことから、医薬品機構に対しこの分野の審査官を送り込むということは有意義であるとして派遣についての協力を求めた。
- 2) 治験推進研究事業における治験候補薬及び治験候補機器の推薦(依頼)  
本件について、現在各理事の先生に対しアンケートをお願いしているが、早急に提出いただくよう事務局より依頼を行った。
- 3) 81回日本整形外科学会学術総会“整形外科の未来を開く”特別ポスター展示  
第81回日本整形外科学会学術総会会長より、標題の学会が札幌で開催される予定であり、関連学会に対して各々の学会領域の活動などについて、ポスター展示で出して欲しいとの依頼があったので、日本リウマチ学会としては、それを受けて対応することが了承された。

## JCR社会保険委員会報告 ..... JCR社会保険委員会 委員長 村澤 章 理事

本年度第2回JCR社会保険委員会を2007年10月31日に開催した。

1. 前年度(前委員会)から引き継いだ平成20年度診療報酬改訂要望について、8月29日(水)、厚生労働省保険局

医療課に対するヒアリングが行われた。

内科系では、

- 1) プログラフのループス腎炎への適応拡大
- 2) エタネルセプト製剤の在宅自己注射指導管理料の算

## 定要望

- 3) 抗CCP抗体の備考より、マトリックスメタロプロティナーゼ3 (MMP3) の削除

外科系関連では、

- 整形外科学会と共同要望として「術中のレントゲン検査（透視下手術の透視加算）を含む9項目の要望を行っ

ている。

2. 10月31日(水)、第2回社会保険委員会(8名中7名出席)を開催し平成20年度診療報酬改訂に向けての経過報告及び次期要望に当たっては会員の先生方の要望を取り入れながら計画的に行っていくことを申し合わせた。

## JCR国際委員会報告 .....JCR国際委員会 委員長 竹内 勲 理事

2007年度第3回JCR国際委員会を10月17日に開催した。

1. 国際委員会とAPLAR小委員会の役割分担を明確にすることを確認し、連携をより深めていくことで合意した。
2. APLARの組織構成について議論をし、JCRがどのように組織的な協力および関与を推進していくかが今後の重要課題であることが確認された。
3. APLARに関するBostonミーティングについて情報収集が重要であると確認された。

4. 第17回国際リウマチシンポジウムプログラム案についてセッション1、2および3の座長、演者が確認された。
5. JCR 2008 International Scholarshipは、昨年同様の規模(10万円×20人)で行うことが確認された。
6. APLAR2008期間中にJCR Clinical Course Lectureを実施することが承認された。
7. 海外購読会員規約について国際委員会としては、購読会員の入会は理事会の承認を得るだけでよく評議委員2名の推薦は要らないであろうと考える。

## JCR生涯教育委員会報告 .....JCR生涯教育委員会 委員長 豊島 良太 理事

本年度第3回生涯教育委員会を2007年11月16日に開催した。主な審議・決定・確認事項は下記の通り。

1. 各JCR支部学術集会時の「地域教育研修会」に於ける『講師のあり方』について  
支部集會に連結する地域教育研修会に対する「研修単位」は、支部学術集会出席で5単位、プラス地域研修に対しては、2~4単位(1単位/1時間)が付加されるが、経費については各支部負担となっており、経費節減のために支部内の講師を当てるという方針が示されているが、教育効果として期待できるか、逆行してないか、という意見が支部より出され、スポンサーも含めて検討するよう委員長への申し入れがあったが、委員会としては費用対効果を考慮し、原則的には近隣、支部内の講師とし実費と謝礼金程度にすることを理事会に提言することとした。なお、本提言は絶対的なものではなく支部の収支状況によることとし、支部(長)の判断に任せることにする案を報告する。
2. 研修会におけるシラバスへの広告掲載可否の再検討について
  - 1) 中央研修会及び地域研修会に於ける収支を勘案し、シラバスに限り広告を掲載することを検討する。
  - 2) 広告掲載にあたっては広く公募を行い特定企業に偏りの無いよう配慮する。
  - 3) 事務局で市場調査を行い、批判を受けることのないよう妥当な価格で公募する。
  - 4) 実施は2008年度を目途に準備を進める。

3. 2008年度アニュアルコースレクチャーの座長の選任  
先の委員会で確定した2008年度のアニュアルコースレクチャーの演題・演者を理事会に報告し、学会長にプログラムへの組み込みを要請する。座長については、開催地の近隣から推薦を依頼して経費の節減を図り、推薦が困難な場合は、生涯教育委員会の委員をあてる。
4. 中央研修会の受講者について  
従来、リウマチ専門医の教育研修を目的とし、受講者を専門医にある程度限定して募集広報を行ってきたが、研修会場収容能力からしても定員増が可能であり、中央教育研修会の収支状況も勘案して、会員以外にも門戸を開き広く広報を行う。教育研修の本旨からしてひいては、患者さんのためにも繋がることから拡大を図っていくことにした。  
については、日本整形外科学会の「認定リウマチ医」の研修単位としても申請を試みる。
5. 日本リウマチ財団からの「リウマチ基本テキスト」作成に対する協力要請について  
第1・2版同様、第3版の改訂版作成にあたりリウマチ学会への協力要請があったが従来共同で作業を行っており、今回も要請に応じ協力を行うことを決め、理事会に報告することとした。なお、本作業にあたっての財団との直接の担当は、廣畑俊成副委員長をあて調整にあたっていただくことを決めた。その際、委員会として対応すべき事項が生じた場合には、委員会全体で対処することを決めた。

## 各支部だより

### (中) 日本リウマチ学会関東支部

日本リウマチ学会の関東支部は最も会員数の多い支部である。現在のところ、会員数2918名、施設数123施設であり、その内訳は、内科医1325名、整形外科医1152名、小児科医77名である。リウマチが専門の内科医と整形外科医が主な構成メンバーで、相互の交流も活発に行われている。

関東では、学会の支部としての活動が正式に開始される以前より、関東リウマチ研究会という研究会組織が活動しており、研究会が定期的に開かれ、症例検討が活発に行われていた。この症例提示と議論の内容については「関東リウマチ」という出版物として現在までに39集が出版されている。

日本リウマチ学会の支部集會が行われるようになってから調整が行われ、6月末頃に関東リウマチ研究会が土曜日の午後開かれ、11月から12月頃に関東支部学術集會がおおよそ1日かけて開かれるようになって現在に至っている。本年は横浜市立大学整形外科教授の齋藤知行教授が会長で、第18回支部集會が12月16日に横浜のパシフィコ横浜で開かれた。

以上のような歴史的経緯から、関東リウマチ研究会への

参加は多く、症例提示と参加者の議論が活発に行われていた一方、学会の関東支部学術集會への参加はそれほど多くない時期がしばらく続いていた。しかし、今までの会長、支部長、運営委員の努力、さらに最近の生物学的製剤の導入などを受け、臨床リウマチ学的重要性が益々まわってきており、最近では多くの支部会員が参加する学術集會へと変化している。

また、関東圏は、製薬会社の主催する研究会やグループや私的な研究会が比較的多く開催される関係もあり、上記2つの集會以外には、現在のところ全体としての活動はない。

(文責：関東支部代表理事 山本一彦)



### (中) 日本リウマチ学会中部支部

#### 1. 中部支部活動状況

現在(平成19年7月)中部リウマチ学会の会員数は604名(理事14名、評議員121名)です。昨年より28名の増となり、今後ますます会員の増加が期待されます。ただし日本リウマチ学会(JCR)中部支部に属する一般会員は1346名であるため、この季節の早期は正が急務になっています。

実はこの件については、長い間表に出ることなく経過してきましたが、JCR中部支部会員と中部リウマチ学会会員(JCR会員でない会員も含まれる)、JCR中部支部長と中部リウマチ評議員、理事とは必ずしも一体したものでなく、歴史的

には中部リウマチ学会が先行し組織され、その後JCR中部支部が同居した形となっています。JCR中部支部規定には、所属県を山梨、新潟、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井の10県に定められていますが、中部リウマチ学会はそのほか9県の会員が含まれています。JCR中部支部の学会活動は中部リウマチ学会と東海関節外科学会、東海膠原病研究会、東海関節鏡研究会とともになることになります。大変複雑で、わかりにくいものとなっていますが、現在事務局でJCRの支部に関する本部規定と中部支部学会会則を照らし合わせ、整合性をもたせつつ統合しようとして

業が進められています。なお事務局は愛知医科大学痛風リウマチ科から名古屋大学整形外科内に移転しました。

さて、JCR中部支部の活動の目標は、多くの会員を募り、リウマチ専門医を育成し、リウマチ治療を体系化し、組織化を進め、地域格差を解消することで、リウマチ患者さんのすべてに最高の医療をとどけることが責務とされます。

リウマチ専門医を育成する一環事業として、2007年新規に認定された教育施設は、高岡市民病院、八尾総合病院、石川勤労者医療協会城北病院、石川県立中央病院、医療法人愛整会北斗病院の5施設です。すでに認定された81施設とともに、地域でのリウマチ医療の発展や研修医育成に期待がもたれます。

## 2. 第19回中部リウマチ学会(中部支部学術集会)報告

平成19年9月8日(土)に、富山市富山第一ホテルにて、富山大学整形外科教授 木村友厚会長によって開催されました。

本学会の目標は、関節リウマチの治療が生物学的製剤の導入と基本治療薬の見直しによって、疼痛コントロールから臨床的寛解へ、さらに画像上の破壊進行の抑制、画像的寛解までが期待されるようになりましたが、関節破壊の制御は未だ十分に達成されたわけではなく、少しでも解明され、今後の治療に役立つようにと企画されました。

そこで、シンポジウムに「関節リウマチにおける骨関節破壊」が取り上げられました。また関節リウマチの早期診断・治療のために、画像診断の役割が重要視されている現在、特別講演では長崎大学大学院放射線診断治療学の上谷雅孝教授に「慢性リウマチの画像診断—X線診断とMRI—」の講演をいただきました。ヌーンタイムレクチャーでは東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター教授の山中寿先生に「我が国の抗サイトカイン療法の現状と今後の展開」によって、最新の生物学的製剤治療の解説をしていただき、社会保険中央総合病院内科の樹田均先生には「RA治療下にかかるニューモシスチス肺炎の診断と治療」と題して関節リウマチ治療下での呼吸器合併症について講演いただきました。



した。JCR調査・研究委員会のレフルミド肺障害検討委員会報告として東京大学医学部アレルギーリウマチ科の沢田哲治先生が代表して解説されました。その他一般演題では、手術1-3、生物学的製剤1-4、膠原病1-7、RAの合併症1-3、薬物療法、検査・評価、診療・病診連携など総計90題の発表が行われました。

## 3. 第2回日本リウマチ学会中部支部地域教育研修会報告

JCR生涯教育委員会から依頼があった地域教育研修会は、昨年中部リウマチ学会翌日に名古屋で開催されましたが、参加者が少なく問題が残りました。今回は学会開催中に組み入れ、3講演を企画することができました。

プログラムは研修会講演1：特別講演兼、2：関節リウマチ患者は患者である前に生活者である、松野 博明先生、3：関節リウマチと変形性関節症に対する下肢機能再建手術、金粕浩一先生で最大3単位修得が可能でした。なお本学会参加では別に5単位取得ができるよう配慮されました。

## 4. 第20回中部リウマチ学会ご案内

平成20年9月6日(土)、浜松市アクトシティー浜松にて、浜松医科大学整形外科教授長野昭会長のもとで開催予定です。

(文責：中部支部代表理事 村澤 章)

## 各支部だより

## (中)日本リウマチ学会近畿支部

近畿リウマチ支部として近畿地区で行われているRA研究に関連した動きを紹介していきたいと思えます。第一回として、京都大学での研究組織の立ち上げを紹介します。

生物学的製剤の出現は関節リウマチなどの自己免疫疾患の治療を劇的に変え、疾患の寛解も期待できる状況となってきました。一方でこれらの治療が無効な患者も存在することから、新たに解明された病態に基づく薬剤のさらなる開発が望まれます。創薬には長い時間と経費を要し、臨床的に使用されるに足る安全性および有効性の高い薬物にいたる可能性はきわめて低い。この非効率性の1つの要因は基礎医学研究と創薬プロセスが各々独自に全く別の場所で行われている点にあると考えられます。

京都大学とアステラス製薬は最先端の基礎免疫学研究と創薬技術の融合による協働開発研究を協議していましたが、平成19年度文科省科学技術振興調整費による「先端融合領

域イノベーション創出拠点の形成」プログラムに採択されたことより、「次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点」を設置することとなりました。融合拠点では京大アステラス融合ラボが京大医学部構内に設置されます。この融合ラボには、京大内研究者チーム、国際公募による若手研究者チーム、アステラス製薬研究者チーム、および知財管理や技術支援のチームからなり、協働研究にて免疫創薬をめざしています。

10月16日には開所式が行われ、プロジェクトが動き出しました。欧米において、主要な大学や研究所と大型製薬企業による創薬に向けた大規模研究開発拠点の形成が急ピッチで進められています。本拠点においても基礎免疫学研究の基盤を有する京大と、創出の実績を有するアステラス製薬が、次世代の革新的免疫制御薬を我が国から世界に向けて送り出すことが期待されます。

(文責：近畿支部代表理事 中村孝志)

## ◇2007年度リウマチ専門医資格認定試験のご案内

2007年度リウマチ専門医資格認定試験が2008年1月20日(日)に都市センターホテルで行われます。資格認定試験の受験資格者には11月9日(金)に郵送で連絡し、受験料を支払われた方には受験票を12月10日(月)に送付しています。

- 試験日時：2008年1月20日(日) 13時00分～15時00分
- 試験場：東京都千代田区平河町2-4-1  
都市センターホテル5F(オリオン)・6F(601・606)  
TEL：03-3265-8211  
※受付は5Fです  
最寄り駅  
■地下鉄有楽町線「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分  
■地下鉄有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩4分  
■地下鉄南北線「永田町駅」9番出口より徒歩3分  
■地下鉄丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- 試験問題  
多選択肢問題を使用いたします。解答はマークシート方式です。
- 筆記用具  
鉛筆 [HB、B]、消しゴム、鉛筆削り等は各自ご持参ください。試験の解答には、鉛筆以外は使用できません。鉛筆以外の筆記具を使用して解答した場合は、無効となります。(サインペン、ボールペンは不可。)
- 諸注意事項  
(1)当日は必ず受験票をご持参の上、12時40分までにご来場下さい。  
受験票の写真貼付欄に写真を貼って下さい。なお、受験票裏面の受験上の留意事項をよくお読み下さい。  
(2)積雪等で交通機関が混乱することも予想されますので、十分ご留意下さい。  
(3)受験に関する問い合わせは、日本リウマチ学会事務局 (TEL. 03-5251-5353) へお願いします。



# 日本リウマチ学会入会申込書

※2007年5月より、入会申込みに際して評議員2名の推薦署名が必要となりました。(2007年改正、定款運用規則第2条)

## 日本リウマチ学会入会申込書

(医師、研究者用)

有限責任中間法人  
日本リウマチ学会理事長殿

年 月 日

日本リウマチ学会定款第6条の規定により入会を申し込みます。  
(会員管理名簿となりますので、明瞭にお書き下さい。)

※事務局記載欄

○印を付して下さい		※ 受 付	※ 会 員 番 号			
新 規	再入会					
ふりかな		ローマ字				
氏 名		⑩		生年月日 (性別)	西暦	年 月 日 (男・女)
E-mail						
勤務先	住 所	〒 - - - - -				
	名 称	Tel - - - - - Fax - - - - -				
	部科名			役 職		
所 属 科 名 (○印又は記入)		リウマチ科(専門=整形外科・内科・ 整形外科・内科・小児科その他( ) )				
自 宅		〒 - - - - - Tel - - - - - Fax - - - - -				
卒業大学・専攻					年 卒業	
卒業大学院・専攻					年 卒業	
連 絡 先 (雑誌送付先)			<input type="checkbox"/> 勤務先		<input type="checkbox"/> 自 宅	
学会英文誌 ("Modern Rheumatology")			<input type="checkbox"/> 要		<input type="checkbox"/> 不 要	

上記の者を(中)日本リウマチ学会の会員に推薦します。

推薦者:  
(役員又は評議員) ⑩

推薦者:  
(役員又は評議員) ⑩

申込書送付先: 〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1丁目1番24  
有限責任中間法人 **日本リウマチ学会**  
TEL: 03(5251)5353 FAX: 03(5251)5354  
E-mail: gakkaih@ryumachi-jp.com

摘要: 1. 申込書に年会費1万円を添えて、現金書留でお送り下さい。  
2. 1年度は3月1日から翌年2月末日迄です。  
3. 退会届のない場合、継続して会員と致します。  
ただし、2年以上会費を支払わず、支払いの催促に応じないときは会員の資格を喪失します。(定款第9条)

◎住所(勤務先)変更、改姓、退会届はメール(FAX、はがき可)にてご通知下さい。

# JCR2007全国中央教育研修会 大阪大会 開催

2007年12月9日(日) 梅田スカイビル



JCR2007全国中央教育研修会大阪大会が12月9日(日)に梅田スカイビル・ステラホールで開催された。

JCRではリウマチ学の診療・教育・研究の水準を向上させることを目的として、リウマチ性疾患に関する十分な知識と経験を有する医師を専門医として認定しており、現時点で約3800名がリウマチ専門医として認定されている。中央教育研修会は、リウマチ専門医の資格維持を目的として、日々進歩しているリウマチ性疾患診療の知識修得を目指し、各支部集会と併せて開催される地域教育研修会と同じく昨年度より開始されたJCR主催による全国規模の教育研修会で、夏と冬にそれぞれ東京と大阪で開催される。

本年度4月29日に開催された第51回学術集会(横浜)アニュアルコースレクチャーでは、リウマチ性疾患の診断や治療に関する7つの講演が行われ750名の専門医及び会員が受講し、8月の東京大会には36都道府県から150名が参加。今回の大阪大会にも170名を超える参加申込があり、参加者らはリウマチ性疾患の診断や治療に関して、それぞれの分野のエ

キスパートによるハイレベルな講演に耳を傾けていた。

なお、2008年も本年同様アニュアルコースレクチャーに続き東京と大阪でそれぞれ全国中央教育研修会を開催する。詳細については学会ホームページなどで随時案内していく。

## 2008年度開催日程

アニュアルコースレクチャー：2008年4月20日(日)

北海道厚生年金会館 大ホール

全国中央教育研修会東京大会：2008年8月24日(日)

全国中央教育研修会大阪大会：2008年12月7日(日)





# “A Promise for Life”

—Turning Science into Caring—

アボットジャパンは、  
1977年、関節リウマチに適応のある薬剤を上市以来、  
RA治療の研究開発に取り組んでいます。  
“患者さんにより良い生活を・・・”  
アボットジャパンの願いは、これからも続いていきます。



**アボット ジャパン株式会社**  
医薬品事業部本社 大阪市中央区城見2-2-53

 **Abbott**  
A Promise for Life

# かわき。

効能追加  
シエーグレン症候群患者の  
口腔乾燥症状の改善



## 効能・効果

1. 頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善
2. シエーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善

## 用法・用量

通常、成人にはピロカルピン塩酸塩として1回5mgを1日3回、食後に経口投与する。

### <用法・用量に関連する使用上の注意>

本剤の投与は空腹時を避け、食後30分以内とすること。

## 使用上の注意

### 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 高度の唾液腺腫脹及び唾液腺の疼痛を有する患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕
- (2) 間質性肺炎の患者〔間質性肺炎を増悪する可能性がある。〕
- (3) 肺炎の患者〔唾液の分泌が亢進し、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (4) 過敏性腸疾患の患者〔腸管運動が亢進し、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (5) 消化性潰瘍の患者〔消化液の分泌が亢進し、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (6) 胆のう障害又は胆石のある患者〔胆管を収縮させ、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (7) 尿路結石又は腎結石のある患者〔尿管及び尿道を収縮させ、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (8) 前立腺肥大に伴う排尿障害のある患者〔膀胱筋を収縮又は緊張させ、排尿障害を悪化させるおそれがある。〕
- (9) 甲状腺機能亢進症の患者〔心血管系に作用し、不整脈又は心房細動を起すおそれがある。〕
- (10) 全身性進行性硬化症の患者〔心血管系、消化器系に作用し、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (11) 中等度又は高度の肝機能低下患者〔高い血中濃度が持続し、副作用の発現率が高まるおそれがある。〕
- (12) 迷走神経緊張症のある患者〔迷走神経の緊張を増強させるおそれがある。〕
- (13) 高齢者〔「高齢者への投与」の項参照〕
- (14) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照〕

### 2. 重要な基本的注意

- (1) 縮瞳を起こすおそれがあるので、投与中の患者には夜間の自動車の運転及び暗所での危険を伴う機械の操作に注意させること。
- (2) 本剤投与中、過度に発汗し十分な水分補給が出来ない場合には脱水症状を引き起こす可能性があるため、このような状況が考えられる患者には担当医師に相談させること。
- (3) 一般にコリン作動薬は、用量依存的に中枢神経系に作用する可能性があることから、認知力の障害または精神障害のある患者に使用する場合に注意すること。
- (4) 本剤を12週間投与して効果が認められない場合には、その後の経過を十分に観察し、漫然と長期にわたり投与しないように注意すること。

### 3. 相互作用

本剤の主代謝経路は、血漿中のエステラーゼによる加水分解と、チトクロームP450 2A6(CYP2A6)による酸化である。

併用注意(併用に注意すること)

コリン作動薬(塩化アセチルコリン、塩化ピロカルピン等)、コリンエステラーゼ阻害薬(ネオスチグミン、塩化アンペニウム等)、アセチルコリン放出促進作用を有する薬剤(シサプリド、モサプリド等)、抗コリン作動薬

口腔乾燥症状改善薬

創薬 指定医薬品

薬価標準収載



# サラジェン<sup>®</sup>錠5mg

## SALAGEN<sup>®</sup> Tab. 5mg

ピロカルピン塩酸塩錠

### 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- (1) 重篤な虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症等)のある患者〔冠状動脈硬化に伴う狭窄所見を冠状動脈攣縮により増強し、虚血性心疾患の病態を悪化させるおそれがある。〕
- (2) 気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患の患者〔気道抵抗や気管支平滑筋の緊張増大及び気管支粘液分泌亢進のため、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (3) 消化管及び膀胱頸部に閉塞のある患者〔消化管又は膀胱筋を収縮又は緊張させ、症状を悪化させるおそれがある。〕
- (4) てんかんの患者〔てんかん発作をおこすおそれがある。〕
- (5) パーキンソンニズム又はパーキンソン病の患者〔パーキンソンニズム又はパーキンソン病の症状を悪化させるおそれがある。〕
- (6) 虹彩炎の患者〔縮瞳が症状を悪化させるおそれがある。〕
- (7) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

(硫酸アトロピン、臭化水素酸スコポラミン等)、抗コリン作用を有する薬剤(フェノチアジン系抗精神病薬:クロルプロマジン等、三環系抗うつ薬:塩酸アミトリプチリン、塩酸イミプラミン等)、CYP2A6で主に代謝されて活性化される薬剤(テゴフル製剤)、CYP2A6で主に代謝される薬剤(塩酸ファドロゾール等)、CYP2A6の阻害剤(メトキサレン等)、潜在的に心毒性を有する抗悪性腫瘍剤(アントラサイクリン系薬剤等)

### 4. 副作用

<頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善>

これまでに実施された臨床試験の総症例665例中、副作用が報告されたのは385例(57.9%)であった。その主なものは、多汗37.0%(246/665)、鼻炎8.1%(54/665)、下痢6.2%(41/665)、頻尿5.4%(36/665)、頭痛4.5%(30/665)、ほてり4.4%(29/665)、嘔気4.4%(29/665)等であった。また、臨床検査値の異常変動は、総症例628例中108例(17.2%)に認められた。その主なものは、トリグリセリド上昇4.2%(23/562)、LDH上昇3.2%(20/616)、AST(GOT)上昇2.4%(15/619)、尿潜血陽性2.5%(13/514)、 $\gamma$ -GTP上昇2.3%(14/601)、ALT(GPT)上昇2.3%(14/619)等であった。(承認時)

<シエーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善>

これまでに実施された臨床試験の総症例367例中、副作用が報告されたのは282例(76.8%)であった。その主なものは、多汗40.6%(149/367)、頭痛15.5%(57/367)、嘔気14.2%(52/367)、下痢13.1%(48/367)、悪寒9.3%(34/367)、ほてり7.1%(26/367)、頻尿6.8%(25/367)、嘔吐6.5%(24/367)、めまい6.3%(23/367)、腹痛6.0%(22/367)、鼻炎6.0%(22/367)、咳5.7%(21/367)、高血圧5.2%(19/367)、倦怠感5.2%(19/367)等であった。また、臨床検査値の異常変動は、総症例353例中102例(28.9%)に認められた。その主なものは、トリグリセリド上昇6.9%(24/348)、 $\gamma$ -GTP上昇5.4%(19/349)、AST(GOT)上昇3.5%(12/347)、LDH上昇3.5%(12/347)、ALT(GPT)上昇3.4%(12/348)、尿潜血陽性3.4%(12/348)、Al-P上昇2.9%(10/347)、赤血球数減少2.6%(9/349)、血色素量減少2.6%(9/349)等であった。(効能追加承認時)

#### (1) 重大な副作用

##### 1) 間質性肺炎(0.1%)

間質性肺炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与など適切な処置を行うこと。

##### 2) 失神・意識喪失(0.2%)

一過性の意識喪失等があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

その他の使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元

**キッセイ薬品工業株式会社**

松本市芳野19番48号

<http://www.kissei.co.jp/>

資料請求先: 薬品情報部 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号

TEL.03-3279-2304

提携

MGI PHARMA, INC., USA

SL093ZV

2007年10月作成

## JCR2007 全国中央教育研修会 大阪大会プログラム

開催日：2007年12月9日（日）  
会場：梅田スカイビス



### 演題① RA～その内科的治療 update～

演者 田中 隆雄（産業医科大学医学部第一内科学講座 教授）  
座長 古田 俊治（藤田保健衛生大学リウマチ感染症内科 教授）



### 演題② 関節リウマチの外科的治療 ～適応とタイミング～

演者 藤 順之助（日本大学医学部整形外科 主任教授）  
座長 中村 耕三（東京大学医学部整形外科 教授）



### 演題③ 全身性エリテマトーデス最近の進歩（診療領域を中心に）

演者 佐々木 毅（NTT東日本東北病院 院長）  
座長 高崎 芳成（順天堂大学医学部膠原病内科 教授）



### 演題④ 強皮症の治療の進歩

演者 近藤 啓文（北里研究所メディカルセンター病院 院長）  
座長 原 まさ子（東京女子医科大学膠原病リウマチ病風センター 教授）



### 演題⑤ 全身性自己免疫疾患（膠原病）における難治性病態の診断と治療

演者 三森 経世（京都大学大学院医学研究科内科学講座臨床免疫学 教授）  
座長 竹内 勲（埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科 教授）



### 演題⑥ ステロイド性骨粗鬆症の治療ガイドライン

演者 宗園 聡（近畿大学医学部奈良病院整形外科リウマチ科 教授）  
座長 鈴木 康夫（東海大学医学部内科学系リウマチ内科学 教授）



### 演題⑦ 変形性関節症の病態と治療の最前線

演者 山田 治基（藤田保健衛生大学整形外科 教授）  
座長 齋藤 知行（横浜市立大学整形外科 教授）

## JCR支部学術集会報告

本年度のJCR支部集会及び第2回地域教育研修会が各地で開催された。9月に中部支部（8日）、近畿支部（8日）及び九州・沖縄支部（7、8日）が開催。10月の中国・四国支部（13日）、11月の北海道・東北支部（23、24日）に続き、12月には関東支部（16日）の支部集会と地域教育研修会がそれぞれ開催され、多くの会員が会場に足を運んだ。

写真は北海道・東北支部集会の様相。当日は休日にもかかわらず、200名を超える会員が参加し、シンポジウムでタクロリムスの使用に関する発表や、北海道・東北地区でのリウマチ医の連携の現状と問題点が論議されるなど活発な討論がなされた。

なお、来年度の各支部集会の日程については本号21ページに掲載。また、学会ウェブサイト上に随時情報をアップしている。

支部集会に関する情報 ⇒ <http://www.ryumachi-jp.com/meeting/shibu.html>



## 2008年度JCR地域教育研修会および支部学術集会の日程

## ◇JCR地域教育研修会

## 第2回九州・沖縄地域教育研修会

開催日 2008年3月16日(日)  
 会場 沖縄コンベンションセンター  
 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1  
 TEL: 098-898-3000  
 会長 豊見城中央病院内科 潮平芳樹  
 単位 2  
 プログラム1 (10:30~11:30)  
 「高度変形肩関節に対する人工関節を用いた肩関節再建術」  
 医療法人友愛会豊見城中央病院 副院長  
 新垣 晃

## プログラム2 (11:30~12:30)

「膠原病に合併する肺病変」  
 琉球大学医学部感染症制御学講座 (第一内科) 教授  
 藤田次郎  
 連絡先 〒901-0243 沖縄県豊見城市上田25  
 豊見城中央病院内 (担当: 狩俣一郎)  
 TEL: 098-850-3811 FAX: 098-850-3810  
 E-mail: ikarimata@yuua.or.jp  
 ※ 第35回九州リウマチ学会 (日本リウマチ学会九州・沖縄支部学術集会) に引き続いて開催されます。

## ◇JCR支部学術集会

## 第35回九州・沖縄支部学術集会 (九州リウマチ学会)

開催日 2008年3月15日(土)、16日(日)  
 会場 沖縄コンベンションセンター  
 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1  
 TEL: 098-898-3000  
 会長 豊見城中央病院内科  
 潮平芳樹  
 ホームページ <http://www.okinawa-congre.co.jp/jcr35kyushu/index.html>  
 連絡先 〒901-0243 沖縄県豊見城市上田25  
 豊見城中央病院内 (担当: 狩俣一郎)  
 TEL: 098-850-3811 FAX: 098-850-3810  
 E-mail: ikarimata@yuua.or.jp

## 第20回中部支部学術集会

開催日 2008年9月6日(土)  
 会場 アクトシティ浜松  
 〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1  
 TEL: 053-451-1111  
 会長 浜松医科大学整形外科 教授  
 長野 昭  
 連絡先 〒431-3192 静岡県浜松市半田山1-20-1  
 浜松医科大学整形外科  
 TEL: 053-435-2299

## 第18回近畿支部学術集会

開催日 2008年9月6日(土)  
 会場 毎日新聞社オーバルホール  
 〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5  
 TEL: 06-6346-8357  
 会長 京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学 教授  
 久保俊一  
 連絡先 京都府立医科大学大学院医学研究科 運動器機能再生外科学  
 〒602-8566 京都市上京区河原町広小路の梶井町465

## 第19回中国・四国支部学術集会

開催日 2008年10月25日(土)  
 会場 鯉城会館  
 〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3  
 TEL: 082-245-2322 FAX: 082-245-2315  
 会長 広島県立障害者リハビリテーションセンター 所長  
 黒瀬靖郎  
 連絡先 広島県立障害者リハビリテーションセンター  
 〒739-0036 広島県東広島市西条町田口295-3  
 TEL: 082-425-1455 (代表)

## 第18回北海道・東北支部学術集会

開催日 2008年11月21日(金)、22日(土)  
 会場 コラッセ福島  
 〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20  
 会長 福島県立医科大学第二内科 教授  
 大平弘正  
 連絡先 福島県立医科大学第二内科  
 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

## 第19回関東支部学術集会

開催日 2008年12月6日(土)  
 会場 ホテルメトロポリタン高崎  
 〒370-0849 群馬県高崎市八島町222  
 TEL: 027-325-3311  
 会長 群馬大学大学院医学系研究科医学専攻 環境病態制御系—  
 生体防衛機構学講座 (生体統御内科学) 教授  
 野島美久  
 連絡先 群馬大学大学院医学系研究科医学専攻 環境病態制御系—  
 生体防衛機構学講座  
 〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地

**若手からの意見**

横田 和浩  
埼玉医科大学リウマチ膠原病科

**リウマチ学を専攻した理由**

私は2001年に埼玉医科大学を卒業後、同大学院に進学しました。2年間の内科研修を終了後、臨床医学研究系リウマチ膠原病アレルギー学を専攻して、研究にも従事し、2004

年4月より助教として同院に勤務しております。

私がリウマチ学を専攻した理由は肺、心臓、腎臓、皮膚などいくつかの臓器を含め全身を診るということにやりがいを感じたからです。

現在、RA患者に対するTNF阻害薬投与の有効性について臨床的検討を行いながら日々の診療に従事しています。また、研究面では大学院在籍中より三村俊英教授の御指導の下、スタチン製剤がRA滑膜細胞に及ぼす効果について検討しています。これまでスタチン製剤による抗炎症作用や細胞増殖抑制作用、アポトーシス誘導作用を認め、Journal of Rheumatologyなどに報告してきました。

今後もリウマチ学会や研究会に積極的に参加して、リウマチ学の知識を深めるとともに患者様の診断・治療に貢献できるような研究に取り組んでいきたいと考えております。



立石 耕司  
神戸大学大学院整形外科

**研究と臨床の両面から**

私は、平成13年に神戸大学整形外科へ入局し、現在、大学院に在籍している立石耕司です。

平成18年に大学院に入学して、リウマチグループの一員となり、TNFレセプタースーパーファミリーの1つであるDcR3に関する研究をしています。それまで臨床しか経験していなかった私は、研究を始めたものの、最初は見るもの、

聞くもの全てが初めてで、訳の分からない物質と、にらめっこする毎日でした。

ようやく研究に慣れてきた今年の4月から、大学病院のリウマチ専門外来を担当して、多くのリウマチ患者さんと接するようになり、関節リウマチに対して、これまで以上に、興味を持つようになりました。研究と臨床の両面を、同時に経験できることは、とても新鮮であり、黒坂昌弘教授と三浦靖史准教授の指導の下、同じくリウマチグループの大学院生である高橋完晴先生と、充実した日々を送っています。

関節リウマチは、未だ発症原因が分かっておらず、多くの疾患の中でも、病因の解明が、特に待ち望まれている疾患のひとつであると思います。なかなか一筋縄ではいかない相手ですが、自分が行っている研究が、将来、関節リウマチの治療に役立つものになるように、医局の仲間たちと切磋琢磨しながら、猪突猛進していこうと思います。

(写真左から高橋完晴先生、著者、三浦靖史准教授)

# Santen



## Together

### 抗リウマチ剤

薬価基準収載

創薬、特許医薬品、処方せん医薬品  
(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

### メトレート錠2mg

Metolate<sup>®</sup> tablets 2mg

メトトレキサート錠

■【効能・効果】、【用法・用量】、【警告】、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

### 抗リウマチ剤

薬価基準収載

創薬、特許医薬品、処方せん医薬品  
(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

### リマチル錠100mg

Rimatil<sup>®</sup> tablets 100mg

プシロニン100mg錠

創薬、特許医薬品、処方せん医薬品  
(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

### リマチル錠50mg

Rimatil<sup>®</sup> tablets 50mg

プシロニン50mg錠

■【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌】、併用禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

創薬特許  
S 参天製薬株式会社  
大塚市東大塚5-1-10  
TEL:03-3343-1111  
FAX:03-3343-1112

### 抗リウマチ剤

薬価基準収載

創薬特許医薬品、処方せん医薬品  
(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

### アザルフィジンEN錠

Azulfidine<sup>®</sup> EN tablets

サラソスルファピリジン600mg緩释錠

創薬特許医薬品、処方せん医薬品  
(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

### アザルフィジンEN錠250mg

Azulfidine<sup>®</sup> EN tablets 250mg

サラソスルファピリジン250mg緩释錠

■【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌】を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

創薬特許  
S 参天製薬株式会社  
大塚市東大塚5-1-10  
TEL:03-3343-1111  
FAX:03-3343-1112

創薬特許  
ファイザー株式会社  
東京都港区新橋3-22-7  
TEL:03-3543-1111  
FAX:03-3543-1112



森 幹士 滋賀医科大学整形外科

## Nantes大学留学記

2004年3月から2007年8月まで、フランスのナント大学に留学させて頂きました。最後の1年間は整形外科教室の客員教授を勤めさせていただくという大変貴重な経験もさせていただきました。

ナントはフランス最大の流域面積を誇るロワール川が大西洋へと注ぐ河口近くにあり、パリのモンパルナス駅からはTGVで約2時間、人口約27万を抱えるロワール地方最大の都市です。街のランドマークとなっているブリュターニュ大公城が、かつてはブリュターニュ公国の首都として栄えた面影を残しており、フランスで最も住みやすい街No.1に選ばれるなど人気が高い街です。

研究室はリーダーであるDr. Dominique Heymannを中心に、骨吸収と原発性骨腫瘍の治療に関する研究がメインテーマでした。研究室はともアットホームで和気藹々としていました。ここでの骨吸収に関する研究は、今脚光を浴びている骨免疫学と、その代表的な疾患である関節リウマチの理解に役立っています。

分業化がかなり進んでおり、労働時間は日本とは比べ物にならな

いほど短く、勤務中には集中して仕事し、夕方はさっさと切り上げて家族や恋人、友人との時間を楽しむというのがフランス流でした。研究室は次第に大きくなっており、私がお世話になった3年半の間でも着実に進化を遂げているように思えました。週に1度許可されたオベ室では脊椎外科を学び、研究で行き詰った時などは臨床の空気が溜まったストレスを消化してくれました。

頑張っ研究して、論文が通ったら「お祝い」となるのは世界共通の慣わしですが、日本のそれとはかなり異なる点がい

くつかありました。フランス流は日本とは逆で、acceptを貰った人がシャンパンを用意して、皆で祝杯を挙げてもらうというものでした。そして…、このシャンパンパーティーはお昼に催されるのです！昼食前の食前酒としてお祝いのシャンパンを頂き、ひとしきりおしゃべりした所で昼食となるのです。所変われば…、でした。幸運にも恵まれ、ご馳走されるばかりではなく、私もシャンパンを皆にご馳走する機会に恵

まれました。大好きなワインの生産地も訪ねられ、仕事以外も充実した毎日でした。海外での生活は、日本を見つめなおす良い機会となりました。お世話になったすべての方々に感謝するとともに、この経験を今後の人生に生かせればと考えております。



**海外留学体験記****山前 正臣**

聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科

**アメリカ・イギリス留学記**

2004年4月より米国Medical University of South Carolinaへ2年間、2006年4月より英国Imperial College, National Heart and Lung Instituteへ1年間、同年10月からは同じ英国のRoyal Free & University Medical Schoolへ留学する機会をいただきました。

成田から目的のCharlestonに妻とともに到着し翌朝、自分のボスであるProf. Trojanowskaに初めて会った時のことを憶えています。「あなたはこれに興味がある？」と手渡されたのは、ここのラボを築き、強皮症の研究をされてきたProf. LeRoyの論文と血管新生の論文の束でした。人生でピベットを数回触った程度の自分には不安もありましたが、念願の実験ができると喜びを感じた瞬間でした。その後、ラボのメンバーに支えられながら、コラーゲン合成と血管新生を基礎研究に携わることができました。

Charlestonは聖なる都市とも言われ、美しい街並や自然が残っているところです。一方ここで勃発した南北戦争の後は荒廃し、かつては全米で4番目の港だったこの地も、一田舎町にすぎなくなってしまった歴史を持っています。住んでいる人たちは、概して明るく、温かな印象を受けます。そんな土地に集まってくる様々な国、様々な背景を持った研究者たちと仕事をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。仕事以外ではチャールストンで子供を授かったことも、妻にとって異国での出産、育児は大変だったと思いますが、嬉しい出来事の一つでした。

その後、かねてからの自分の希望でありました間質性肺炎

の勉強のために渡英することができました。そこでのProf. du Boisとの最初の会話も印象的でした。リチャード・ギアばりの顔に皮肉な微笑を浮かべて「Masaiはアメリカ人が好きかい？」多民族国家である米国では決して聞くことのない質問でしたが、こんなストレートな英国人が愛すべき人たちであることを理解するには時間がかかりませんでした。彼らはルールを守り、公平で、討論好きでした。とことん話し合い、その中から新しいものを見いだそうとするところがありました。病棟の回診では、一人の患者に必ず1時間ほどの討論があり、しかしとても新鮮な時間でした。仕事後のpubでの延長戦も楽しく、その後もう一人のボスになるProf. Abrahamと最初に出会ったのもPaddington駅近くのpubでした。米国を離れるときにハイハイを憶えた息子も、成田に向けてHeathrow空港を発つころには、空港を走り回っていました。

留学中お世話になりました皆様や、留学中の3年間のギャップを現在大学でフォローして下さっている先生方に、紙面をおかりして感謝申し上げます。



## (中)日本リウマチ学会『教育施設』一覧

(中)日本リウマチ学会専門医制度規則第14条により教育施設として認定されている施設は次の443施設(2007年9月1日現在)です。  
なお、教育施設の募集および継続申請のお知らせは次号ニュースレターで掲載いたします。

一連番号	認定番号	施設名	郵便番号/住所	電話番号	認定年度	次回更新年度
<b>北海道</b>						
1	1	北海道大学病院	060-8648 札幌市北区北14条西5丁目	011-716-1161	1989	2010
2	81	総合病院北見赤十字病院	090-8666 北見市北6条東2-1	0157-24-3115	1990	2008
3	82	札幌医科大学医学部附属病院	060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目291番地	011-611-2111	1990	2008
4	84	勤医協中央病院	007-8505 札幌市東区伏古10条2-15-1	011-782-9111	1990	2008
5	88	市立札幌病院	060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1	011-726-2211	1990	2008
6	217	札幌社会保険総合病院	004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-3000	1995	2010
7	246	市立釧路総合病院	085-0822 釧路市春舞台1-12	0154-41-6121	1998	2010
8	335	旭川医科大学附属病院	078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1	0166-68-2454	2001	2010
9	354	苫小牧市立総合病院	053-8567 苫小牧市清水町1-5-20	0144-33-3131	2002	2008
10	398	KCR札幌医療センター斗南病院	060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目	011-231-2121	2004	2010
11	432	独立行政法人国立病院機構西札幌病院	063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1-1	011-611-8111	2005	2008
12	473	帯広厚生病院	080-0016 帯広市西6条南8丁目1番地	0155-24-4161	2006	2009
13	474	総合病院釧路赤十字病院	085-8512 釧路市新栄町21-14	0154-22-7171	2006	2009
14	475	市立函館病院	041-8680 函館市港町1-10-1	0138-43-2000	2006	2009
15	476	時計台記念病院リウマチ膠原病センター	060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2-3	011-251-1221	2006	2009
16	477	北海道整形外科記念病院	062-0937 札幌市豊平区平岸7条13丁目5番22号	011-812-7001	2006	2009
<b>青森県</b>						
17	115	青森県立中央病院	030-8553 青森市東道2-1-1	017-726-8111	1991	2009
18	116	弘前大学医学部附属病院	036-8563 弘前市本町53	0172-33-5111	1991	2009
19	306	医療法人整友会 弘前記念病院	036-8076 弘前市境関字西田59-1	0172-28-1211	2000	2009
20	515	五所川原市立西北中央病院	037-0053 五所川原市宇布屋町41番地	0173-35-3111	2007	2010
<b>岩手県</b>						
21	2	岩手医科大学医学部附属病院	020-8505 盛岡市内丸19-1	019-651-5111	1989	2010
22	204	独立行政法人国立病院機構盛岡病院	020-0133 盛岡市青山1-25-1	019-647-2195	1994	2009
23	434	社団法人医療法人栢内病院	020-0807 盛岡市着町2-28	019-623-1316	2005	2008
24	435	社会福祉法人慈陽財団済生会北上済生会病院	024-8506 北上市花園町1丁目6番6号	0197-64-7722	2005	2008
25	478	岩手県立花巻厚生病院	025-0082 花巻市御田屋町4-57	0198-23-2346	2006	2009
<b>宮城県</b>						
26	4	東北厚生年金病院	983-8512 仙台市宮城野区榴室1-12-1	022-259-1221	1989	2010
27	5	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院	981-8563 仙台市青葉区台原4-3-21	022-275-1111	1989	2010
28	119	東北大学医学部附属病院	980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7000	1991	2009
29	272	独立行政法人国立病院機構西多賀病院	982-8555 仙台市太白区鉤取本町2丁目11番11号	022-245-2111	1999	2008
30	307	大崎市市民病院	989-6183 古川市千手寺町2丁目3-10	0229-23-3311	2000	2009
31	436	石巻赤十字病院	986-8522 石巻市蛇田字西道下71番地	0225-21-7220	2005	2008
32	516	NTT東日本東北病院	984-8560 仙台市若葉区大和町2-29-1	022-236-5711	2007	2010
<b>秋田県</b>						
33	118	由利組合総合病院	015-8511 由利本荘市川口字家後38	0184-27-1200	1991	2009
34	183	秋田大学医学部附属病院	010-8543 秋田市本道1-1-1	018-834-1111	1993	2008
35	273	湖東総合病院	018-1605 南秋田郡八郎湖町川崎字貝保37	018-875-2100	1999	2008
36	437	特定医療法人明和会中通総合病院	010-8577 秋田市南道みその町3-15	018-833-1122	2005	2008
<b>山形県</b>						
37	120	山形大学医学部附属病院	990-9585 山形市釜田西2-2-2	023-633-1122	1991	2009
38	440	山形県立中央病院	990-2292 山形市青柳1800	023-685-2626	2005	2008
<b>福島県</b>						
39	6	福島県立医科大学附属病院	960-1295 福島市光が丘1	024-547-1111	1989	2010
40	122	財団法人太田総合病院附属太田西/内病院	963-8558 郡山市西ノ内2-5-20	0249-25-1188	1991	2009
41	153	独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院	973-8403 いわき市内郷町沼尻3	0246-26-1111	1992	2010
42	184	財団法人湯浅福音会寿泉堂総合病院	963-8585 郡山市駅前1-8-16	024-932-6363	1993	2008
43	274	福島第一病院	960-8251 福島市北沢又字成出16番地の2	024-557-5111	1999	2008
44	275	福島県厚生連塩原病院	963-5405 東白川郡塩原町字大町1-5	0247-43-1145	1999	2008
45	309	財団法人大原総合病院	960-8611 福島市大町6-11	024-526-0300	2000	2009
46	337	福島赤十字病院	960-8530 福島市入江町11-31	024-534-6101	2001	2010
47	438	済生会川俣病院	960-1406 伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2-4	024-566-2323	2005	2008
48	439	医療法人辰星会橋病院	964-8567 二本松市本町1丁目103	0243-22-2828	2005	2008
49	517	北福島医療センター	960-0502 伊達市箱崎字東23-1	024-551-0551	2007	2010
<b>茨城県</b>						
50	130	筑波大学附属病院	305-8576 つくば市天久保2-1-1	0298-53-3900	1991	2009
51	231	株式会社日立製作所多賀総合病院リウマチ膠原病センター	316-0035 日立市園分町2-1-2	0294-33-0035	1996	2008
52	310	東京医科大学霞ヶ浦病院	300-0395 稲敷郡阿見町中央3-20-1	0298-87-1161	2000	2009
53	338	財団法人筑波臨仁会筑波学園病院	305-0854 つくば市上横場2573-1	0298-36-1355	2001	2010
54	356	社会福祉法人白十字会白十字総合病院	314-0134 鹿島郡神栖町賀2148	0299-92-3311	2002	2008

一通番号	認定番号	施設名	郵便番号/住所	電話番号	認定年度	次回更新年度
55	518	鹿島労災病院	314-0343 神栖市土合本町1丁目9108-2	0479-48-4111	2007	2010
<b>栃木県</b>						
56	27	自治医科大学附属病院	329-0498 下野市薬師寺3311-1	0285-44-2111	1989	2010
57	28	獨協医科大学病院	321-0293 下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111	1989	2010
<b>群馬県</b>						
58	87	医療法人社団三思会東邦病院	379-2311 みどり市笠懸町大字阿左美1155	0277-76-6311	1990	2008
59	90	前橋赤十字病院	371-0014 前橋市朝日町3-21-36	027-224-4585	1990	2008
60	129	医療法人井上病院	370-0053 高崎市通町55	0273-22-3660	1991	2009
61	185	群馬大学医学部附属病院	371-8511 前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111	1993	2008
62	232	財団法人老年病研究所附属病院	371-0847 前橋市大友町3-26-8	027-253-3311	1996	2008
63	247	医療法人社団日高会日高病院	370-0001 高崎市中尾町886	027-362-6201	1998	2010
64	357	医療法人社団東郷会恵愛堂病院	376-0101 みどり市大間々町大間々504-6	0277-73-2211	2002	2008
65	384	医療法人相生会わかば病院	371-0843 前橋市新前橋町3-3	027-255-5252	2003	2009
66	482	公立藤岡総合病院	374-8503 藤岡市藤岡942-1	0274-22-3311	2006	2009
<b>埼玉県</b>						
67	30	埼玉医科大学総合医療センター	350-8550 川越市鶴田辻道町1981	049-228-3400	1989	2010
68	31	埼玉医科大学病院	350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38	0492-76-1111	1989	2010
69	32	防衛医科大学校病院	359-8513 所沢市並木3-2	0429-95-1211	1989	2010
70	85	さいたま赤十字病院	338-8553 さいたま市中央区上落合8-3-33	048-852-1111	1990	2008
71	186	さいたま市立病院	336-8522 さいたま市緑区三草2460	048-873-4111	1993	2008
72	205	秀和総合病院	344-0038 春日部市谷原新田1200	048-737-2121	1994	2009
73	311	川口工業総合病院	332-0031 川口市青木1-18-15	048-252-4873	2000	2009
74	339	埼玉社会保険病院	330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3	048-832-4951	2001	2010
75	358	特定医療法人社団新都市医療研究会[関越]会関越病院	350-2213 鶴ヶ島市大字脚折145-1	049-285-3161	2002	2008
76	400	埼玉県総合リハビリテーションセンター	362-8567 上尾市西貝塚148-1	048-781-2222	2004	2010
77	401	自治医科大学附属大宮医療センター	330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847	048-647-2111	2004	2010
78	483	北里研究所メディカルセンター病院	364-8501 北本市荒井6丁目100番地	048-593-1212	2006	2009
79	484	埼玉県立小児医療センター	339-0077 さいたま市岩槻区馬込2100	048-758-1811	2006	2009
80	519	医療法人若葉会若葉病院	350-0208 坂戸市戸宮609番地	049-283-3633	2007	2010
<b>千葉県</b>						
81	29	千葉大学医学部附属病院	260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-222-7171	1989	2010
82	75	千葉県千葉リハビリテーションセンター	266-0005 千葉市緑区菅田町1-45-2	043-291-1831	1990	2008
83	249	独立行政法人国立病院機構下志津病院	284-0003 四街道市国渡934-5	043-422-2511	1998	2010
84	297	東邦大学医学部附属佐倉病院	285-0841 佐倉市下志津564-1	043-462-8811	1997	2009
85	313	松戸市立病院	271-8511 松戸市上本郷4005	047-363-2171	2000	2009
86	385	千葉県済生会習志野病院	275-0006 習志野市泉町1-1-1	047-473-1281	2003	2009
87	406	独立行政法人国立病院機構千葉東病院	260-8712 千葉市中央区仁戸名町673番地	043-261-5171	2004	2010
88	441	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	296-8602 鴨川市東町929番地	047-092-2211	2005	2008
89	442	順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院	279-0021 浦安市富岡2-1-1	047-353-3111	2005	2008
90	443	総合病院国保旭中央病院	289-2511 旭市イ1326	0479-63-8111	2005	2008
91	444	千葉徳洲会病院	274-8503 船橋市習志野台1-27-1	047-466-7111	2005	2008
92	485	成田赤十字病院	286-8523 成田市飯田町90-1	0476-22-2311	2006	2009
93	520	社会保険船橋中央病院	273-8556 船橋市海神6-13-10	047-433-2111	2007	2010
<b>東京都</b>						
94	7	医療法人社団慈誠会上板橋病院	174-0071 板橋区常盤台4-36-9	03-3933-7191	1989	2010
95	8	慶應義塾大学病院	160-8582 新宿区信濃町35	03-3353-1211	1989	2010
96	9	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	152-8902 目黒区東が丘2-5-1	03-3411-0111	1989	2010
97	10	独立行政法人国立病院機構村山医療センター	208-0011 武蔵村山市学園2-37-1	042-561-1221	1989	2010
98	11	昭和大学病院	142-8666 品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000	1989	2010
99	12	順天堂大学医学部附属順天堂医院	113-8431 文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	1989	2010
100	13	帝京大学医学部附属病院	173-8605 板橋区加賀2-11-1	03-3964-1211	1989	2010
101	14	東京医科歯科大学医学部附属病院	113-8519 文京区湯島1-5-45	03-3813-6111	1989	2010
102	15	東京医科大学病院	160-0023 新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	1989	2010
103	16	東京女子医科大学附属東医療センター	116-8567 荒川区西尾久2-1-10	03-3810-1111	1989	2010
104	17	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター	162-0054 新宿区河田町10-22	03-5269-1711	1989	2010
105	18	東京大学医学部附属病院	113-0033 文京区本郷7-3-1	03-5800-8825	1989	2010
106	19	東京通信病院	102-8798 千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	1989	2010
107	20	東京都立府中病院	183-8524 府中市武蔵台2-9-2	0423-23-5111	1989	2010
108	21	東京都老人医療センター	173-0015 板橋区栄町35-2	03-3964-1141	1989	2010
109	22	杏林大学医学部附属病院	181-8611 三鷹市新川6-20-2	0422-47-5511	1989	2010
110	23	都立大塚病院	170-0005 豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	1989	2010
111	25	日本大学医学部附属板橋病院	173-8610 板橋区大谷口上町30-1	03-3972-8111	1989	2010
112	89	国立成育医療センター	157-8535 世田谷区大蔵2丁目10-1	03-3416-0181	1990	2008
113	92	東京都立墨東病院	130-8575 墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	1990	2008
114	111	東京慈恵会医科大学附属病院	105-8471 港区西新橋3-19-18	03-3433-1111	1990	2008
115	123	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	105-8470 港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111	1991	2009
116	124	財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院	101-0062 千代田区神田駿河台1-8	03-3292-2051	1991	2009

# INFORMATION

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
<b>東京都</b>						
117	125	東京都立駒込病院	113-8677 文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	1991	2009
118	126	JR東京総合病院	151-0053 渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2200	1991	2009
119	156	日本大学医学部付属練馬光が丘病院	179-0072 練馬区光が丘2-11-1	03-3979-3611	1992	2010
120	187	河北総合病院	166-0001 杉並区阿佐ヶ谷北1-7-3	03-3339-2121	1993	2008
121	245	日本医科大学附属病院	113-8603 文京区千駄木1-1-5	03-3822-2131	1997	2009
122	276	東邦大学医療センター大森病院	143-8541 大田区大森西6-11-1	03-3762-4151	1999	2008
123	277	東京厚生年金病院	162-0821 新宿区津久戸町5-1	03-3269-8111	1999	2008
124	314	公立阿佐留病院	197-0834 あきる野市引田78-1	042-558-0321	2000	2009
125	341	社会福祉法人白十字会東京白十字病院	189-0021 東村山市諏訪町2-26-1	042-391-6111	2001	2010
126	355	東邦大学医療センター大橋病院	153-8515 目黒区大橋2-17-6	03-3468-1251	2002	2008
127	386	国立国際医療センター	162-8655 新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	2003	2009
128	387	日本赤十字社医療センター	150-8935 渋谷区広尾4-1-22	03-3400-1311	2003	2009
129	403	東京大学医科学研究所附属病院	108-8639 港区白金台4-6-1	03-3443-8111	2004	2010
130	404	東京都リハビリテーション病院	131-0034 墨田区堤通2-14-1	03-3616-8600	2004	2010
131	445	青梅市立総合病院	198-0042 青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	2005	2008
132	446	社会福祉法人児玉経営病院	156-0052 世田谷区経堂2-5-21	03-3420-1028	2005	2008
133	447	順天堂東京江東高令者医療センター	136-0075 江東区新砂3-3-20	03-5632-3111	2005	2008
134	449	町田市市民病院	194-0023 町田市旭町2-15-41	042-722-2230	2005	2008
135	479	医療法人社団順江会江東病院	136-0072 江東区大島6-8-5	03-3685-2166	2006	2009
136	480	自衛隊中央病院	154-8532 世田谷区池尻1-2-24	03-3411-0151	2006	2009
137	481	聖路加国際病院	104-8560 中央区明石町9-1	03-3541-5151	2006	2009
138	521	池上総合病院	146-8531 大田区池上6丁目1番19号	03-3752-3151	2007	2010
139	522	昭島病院	196-0022 昭島市中神町1260番地	042-546-3111	2007	2010
140	523	東京女子医科大学附属青山病院	107-0061 港区青山12-7-13	03-5411-8111	2007	2010
141	524	一橋病院	187-0045 小平市学園西町1-2-25	042-343-1311	2007	2010
142	525	社会福祉法人三井記念病院	101-8643 千代田区神田和泉町1番地	03-3862-9111	2007	2010
<b>神奈川県</b>						
143	33	厚木市立病院	243-8588 厚木市水引1-16-36	046-221-1570	1989	2010
144	34	川崎市立川崎病院	210-0013 川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5521	1989	2010
145	35	北星大学病院	228-8555 相模原市北星1-15-1	0427-78-8111	1989	2010
146	36	北星大学東病院	228-8520 相模原市麻溝台2-1-1	0427-48-9111	1989	2010
147	37	独立行政法人国立病院機構相模原病院	228-8522 相模原市桜台18-1	0427-42-8311	1989	2010
148	39	聖リファエイル医科大学病院	216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1	044-977-8111	1989	2010
149	41	東海大学医学部付属病院	259-1193 伊勢原市望星台	0463-93-1121	1989	2010
150	42	横浜市立大学医学部附属病院	236-0004 横浜市金沢区蒲3-9	045-787-2800	1989	2010
151	94	昭和大学藤が丘病院	227-0043 横浜市青葉区藤が丘1-30	045-971-1151	1990	2008
152	95	湯河原厚生年金病院	259-0314 足柄下郡湯河原町宮上438	0465-63-2211	1990	2008
153	157	藤沢市民病院	251-8550 藤沢市藤沢2-6-1	0466-25-3111	1992	2010
154	158	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	232-0024 横浜南区浦舟町4-57	045-261-5656	1992	2010
155	159	帝京大学医学部附属溝口病院	213-8507 川崎市高津区溝口3-8-3	044-844-3333	1992	2010
156	189	湘南鎌倉総合病院	27-8533 鎌倉市山崎1202-1	0467-46-1717	1993	2008
157	221	川崎市立井田病院	211-0035 川崎市中原区井田2-27-1	044-766-2188	1995	2010
158	252	横浜市立市民病院	240-0062 横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	1998	2010
159	298	医療法人社団仁愛会海老名総合病院	243-0433 海老名市河原口1320番地	0462-35-1311	1997	2009
160	315	医療法人(社団)新都市医療研究会「君津」会南大和病院	242-0015 神奈川県大和市下和田1331-2	046-269-2411	2000	2009
161	316	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	236-0037 横浜市金沢区六浦東1-21-1	045-782-2101	2000	2009
162	342	横浜船員保険病院	240-8585 横浜市保土ヶ谷区釜台町43-1	045-331-1251	2001	2010
163	360	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院	247-8581 横浜市栄区柱町132番地	045-891-2171	2002	2008
164	362	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	227-8518 横浜市青葉区藤が丘2-1-1	045-974-2221	2002	2008
165	363	社会福祉法人聖テレジア会総合病院聖ヨゼフ病院	238-8502 横須賀市緑が丘28	046-822-2134	2002	2008
166	364	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1	045-366-1111	2002	2008
167	388	済生会横浜市東部病院	221-8601 横浜市鶴見区下末古3-6-1	045-576-3000	2003	2009
168	389	三浦市立病院	238-0222 三浦市峰陽町4-33	046-882-2111	2003	2009
169	408	横須賀市立うわまち病院	238-8567 横須賀市上町2-36	046-823-2630	2004	2010
170	450	横浜市立みなと赤十字病院	231-8682 横浜市中区新山下3-12-1	045-628-6100	2005	2008
171	486	神奈川厚生連相模原協同病院	229-1188 相模原市橋本2-6-18	042-772-4291	2006	2009
172	487	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院	222-0036 横浜市港北区小机町3211	045-474-8111	2006	2009
<b>山梨県</b>						
173	43	山梨大学医学部附属病院	409-3898 中央市下河東1110	055-273-1111	1989	2010
174	455	山梨県立中央病院	400-0027 甲府市富士見1-1-1	055-253-7111	2005	2008
175	456	市立甲府病院	400-0832 甲府市増坪町366番地	055-244-1111	2005	2008
<b>長野県</b>						
176	97	長野県厚生農業協同組合連合会篠井病院	388-8004 長野市篠井会館666-1	026-292-2261	1990	2008
177	160	長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院	381-1231 長野市松代町松代183	026-278-2031	1992	2010
178	161	小諸厚生総合病院	384-8588 小諸市与良町3-2-31	0267-22-1070	1992	2010
179	299	長野赤十字病院	380-0922 長野市若里5-22-1	026-226-4131	1997	2009

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
180	318	飯田市立病院	395-8502 飯田市八幡町438	0265-21-1255	2000	2009
181	343	信州大学医学部附属病院	390-8621 松本市旭3丁目1番1号	0263-35-4600	2001	2010
182	410	抱生会丸の内病院リウマチセンター	390-8601 松本市開智2-3-50	0263-33-0385	2004	2010
<b>新潟県</b>						
183	112	新潟県立リウマチセンター	957-0054 新潟市本町1-2-8	0254-23-7751	1990	2008
184	113	新潟大学医学部総合病院	951-8520 新潟市旭町通1-754	025-223-6161	1990	2008
185	133	新潟県立中央病院	943-0192 上越市新南町205	0255-22-7711	1991	2009
186	365	長岡赤十字病院	940-2085 長岡市千秋2-297-1	0258-28-3600	2002	2008
<b>富山県</b>						
187	166	富山赤十字病院	930-0859 富山市牛島本町2-1-58	076-433-2222	1992	2010
188	194	富山大学附属病院	930-0194 富山市杉谷2630	076-434-2281	1993	2008
189	390	富山県済生会高岡病院	933-8525 高岡市二塚387-1	0766-21-0570	2003	2009
190	451	富山県立中央病院	930-8550 富山市西長江2-2-78	076-424-1531	2005	2008
191	526	高岡市民病院	933-8550 高岡市宝町4番1号	0766-23-0204	2007	2010
192	527	八尾総合病院	939-2376 富山市八尾町福島7-42	076-454-5000	2007	2010
<b>石川県</b>						
193	86	金沢医科大学病院	920-0293 河北郡内灘町大学1-1	076-286-3511	1990	2008
194	301	金沢大学医学部附属病院	920-8641 金沢市宝町13-1	076-265-2000	1997	2009
195	319	石川県済生会 金沢病院	920-0353 金沢市赤土町二13-6	076-266-1060	2000	2009
196	528	石川勤労者医療協会 城北病院	920-8616 金沢市京町20-3	076-251-6111	2007	2010
197	529	石川県立中央病院	920-8530 金沢市鞍月東2-1	076-237-8211	2007	2010
<b>福井県</b>						
198	52	福井大学医学部附属病院	910-1193 吉田郡松岡町下合月23-3	0776-61-3111	1989	2010
199	110	福井総合病院	910-8561 福井市新田塚1-42-1	0776-21-1300	1990	2008
200	412	福井県済生会病院	918-8503 福井市和田中町舟橋7-1	0776-23-1111	2004	2010
201	488	独立行政法人国立病院機構福井病院	914-0195 敦賀市桜ヶ丘町33-1	0770-25-1600	2006	2009
<b>岐阜県</b>						
202	50	朝日大学歯学部附属村上記念病院	500-8523 岐阜市橋本町3-23	058-253-8001	1989	2010
203	193	岐阜大学医学部附属病院	501-1194 岐阜市柳戸1番1	058-230-6000	1993	2008
204	392	医療法人社団豊会近石病院	502-0901 岐阜市光町2-46	058-232-2111	2003	2009
205	413	社団医療法人かなめ会山内ホスピタル	500-8381 岐阜市市場3-7-22	058-276-2131	2004	2010
206	452	西美濃厚生病院	503-1394 養老郡養老町押越986	0584-32-1161	2005	2008
207	494	岐阜県立下部温泉病院	509-2292 下部市幸田1162	0576-25-2820	2006	2009
<b>静岡県</b>						
208	44	市立伊東市民病院	414-0054 伊東市鎌田222	0557-37-2626	1989	2010
209	45	中伊豆温泉病院	410-2502 伊豆市上白岩1000番地	0558-83-3333	1989	2010
210	96	順天堂大学医学部附属静岡病院	410-2295 伊豆の国市長岡1129	055-948-3111	1990	2008
211	134	浜松医科大学医学部附属病院	431-3192 浜松市半田山1-20-1	053-435-2111	1991	2009
212	190	静岡市立総合病院	438-8550 静岡市大久保512-3	0538-38-5000	1993	2008
213	192	社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷浜松病院	430-8558 浜松市住吉2-12-12	053-474-2222	1993	2008
214	222	総合病院静岡厚生病院	420-8623 静岡市葵区北番町23	054-271-7177	1995	2010
215	279	社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷三方原病院	433-8558 浜松市北区三方原町3453	053-436-1251	1999	2008
216	320	藤枝市立総合病院	426-8677 藤枝市駿河台4-1-11	054-646-1111	2000	2009
217	366	静岡赤十字病院	420-0853 静岡市葵区追手町8-2	054-254-4311	2002	2008
218	367	静岡リウマチ整形外科リハビリ病院	420-0821 静岡市柏木90-1	054-267-1000	2002	2008
219	393	医療法人社団駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院	425-0088 焼津市大覚寺655	054-628-5500	2003	2009
220	414	県西部浜松医療センター	432-8580 浜松市中区富塚町328	053-453-7111	2004	2010
221	415	静岡県立総合病院	420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1	054-247-6111	2004	2010
222	489	国際医療福祉大学附属熱海病院	413-0012 熱海市東海岸町13-1	0557-81-9171	2006	2009
223	490	静岡徳洲会病院	421-0193 静岡市駿河区下川原南11-1	054-256-8008	2006	2009
224	491	市立御前崎総合病院	437-1696 御前崎市池新田2060	0537-86-8511	2006	2009
225	492	袋井市立袋井市民病院	437-0061 袋井市久能2515-1	0538-43-2511	2006	2009
226	493	沼津市立病院	410-0302 沼津市東松路字春ノ木550	055-924-5100	2006	2009
<b>愛知県</b>						
227	46	愛知医科大学病院	480-1195 愛知郡長久手町大字岩作字雁又21	0561-62-3311	1989	2010
228	47	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1	052-951-1111	1989	2010
229	48	名古屋市立大学病院	467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1	052-851-5511	1989	2010
230	49	藤田保健衛生大学病院	470-1192 豊明市香掛町田楽ヶ窪1-98	0562-93-2111	1989	2010
231	103	J A 愛知厚生連安城更生病院	446-8602 安城市安城町東広野28番地	0566-75-2111	1990	2008
232	107	小牧市民病院	485-8520 小牧市常盤1-20	0568-76-4131	1990	2008
233	162	トヨタ記念病院	471-8513 豊田市平和町1-1	0565-28-0100	1992	2010
234	163	名古屋大学医学部附属病院	466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65	052-741-2111	1992	2010
235	209	独立行政法人労働者健康福祉機構中部ろうさい病院	455-8530 名古屋市港区港明1-10-6	052-652-5511	1994	2009
236	210	名古屋市立東市民病院	464-8547 名古屋市千種区若水1-2-23	052-721-7171	1994	2009
237	234	みなと医療生活協同組合協立総合病院	456-8611 名古屋市熱田区五番町4-33	052-654-2211	1996	2008
238	253	豊橋市民病院	441-8570 豊橋市青竹町八間西50	0532-33-6111	1998	2010
239	254	医療法人宝美会 総合青山病院	441-0195 宝飯郡小坂井町大字小坂井字門並5番地1	0533-78-2561	1998	2010

# INFORMATION

一連番号	認定番号	施設名	郵便番号/住所	電話番号	認定年度	次回更新年度
<b>愛知県</b>						
240	280	医療法人明陽会成田記念病院	441-8021 豊橋市白河町7-8	0532-31-2167	1999	2008
241	281	豊川市民病院	442-8561 豊川市光明町1-19	0533-86-1111	1999	2008
242	282	公立陶生病院	489-8642 瀬戸市西追分町160	0561-82-5101	1999	2008
243	283	一宮市立市民病院	491-8558 一宮市文京2丁目2番22号	0586-71-1911	1999	2008
244	344	名古屋共立病院	454-8525 名古屋市中川区法華1丁目172	052-362-5151	2001	2010
245	369	名古屋市総合リハビリテーションセンター	467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町密柑山1-2	052-835-3811	2002	2008
246	416	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院	448-8505 刈谷市住吉町5-15	0566-21-2450	2004	2010
247	417	名古屋市立守山市民病院	463-0067 名古屋市守山区守山2丁目18-22	052-791-2121	2004	2010
248	418	半田市立半田病院	475-8599 半田市東洋町2-29	0569-22-9881	2004	2010
249	453	愛知県厚生農業協同組合連合会加茂病院	471-8505 豊田市元城町3-17	0565-31-1511	2005	2008
250	454	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院	465-8620 名古屋市中区梅森坂5丁目101番地	052-801-1151	2005	2008
251	495	厚生連海南病院	498-8502 弥富市前ヶ須町南本田396	0567-65-2511	2006	2009
252	496	社会保険中京病院	457-8510 名古屋市中区三条1-1-10	052-691-7151	2006	2009
253	530	北斗病院	444-2148 岡崎市仁木町字川越17-33	0564-66-2811	2007	2010
<b>三重県</b>						
254	83	鈴鹿中央総合病院	513-0818 鈴鹿市安塚町字山之花1275-53	0593-82-1311	1990	2008
255	135	山田赤十字病院	516-0805 伊勢市御蔵町宮向810	0596-28-2171	1991	2009
256	419	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	514-1101 久居市明神町2158-5	059-259-1211	2004	2010
257	497	藤田保健衛生大学七菜サナトリウム	514-1295 津市大島町424-1	059-252-1555	2006	2009
<b>滋賀県</b>						
258	60	国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院	520-2192 大津市瀬田月輪町	077-548-2111	1989	2010
<b>京都府</b>						
259	53	京都大学医学部附属病院	606-8507 京都市左京区聖徳院川原町54	075-751-3652	1989	2010
260	54	京都府立医科大学附属病院	602-0841 京都市上京区河原町広小路上ル桐井町465	075-251-5505	1989	2010
261	104	京都第二赤十字病院	602-8026 京都市上京区釜屋通丸太町上ル春帯町355-5	075-231-5171	1990	2008
262	421	大原記念病院	601-1246 京都市左京区大原井出町164	075-744-3121	2004	2010
263	422	京都第一赤十字病院	605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地	075-561-1121	2004	2010
264	457	医療法人順和会京都下鴨病院	606-0866 京都市左京区下鴨東森ヶ前町17	075-781-1158	2005	2008
265	498	財団法人丹後中央病院	627-0022 京丹後市峰山町杉谷158-1	0772-62-0791	2006	2009
266	499	独立行政法人国立病院機構宇多野病院	616-8255 京都市右京区鳴滝音山町8	075-461-5121	2006	2009
267	531	医療法人岡本病院(財団)第二岡本総合病院	611-0025 宇治市神明石塚54-14	0774-44-4511	2007	2010
268	532	小澤病院	607-8411 京都市山科区御陵大津畑町43-1	075-581-6151	2007	2010
269	533	医療法人洛和会 洛和会音羽病院	607-8062 京都市山科区音羽珍事町2番地	075-593-4111	2007	2010
270	534	京都市立病院	604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-2	075-311-5311	2007	2010
<b>大阪府</b>						
271	56	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院	591-8025 堺市北区長曾根町1179-3	0722-52-3561	1996	2008
272	57	関西医科大学附属滝井病院	570-8507 守口市文圃町10-15	06-6992-1001	1989	2010
273	58	近畿大学医学部附属病院	589-8511 大阪狭山市大野東377-2	072-366-0221	1989	2010
274	59	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	586-8521 河内長野市木戸東町2-1	0721-53-5761	1989	2010
275	102	医療法人行岡医学研究会行岡病院	530-0021 大阪市北区浮田2-2-3	06-6311-9921	1990	2008
276	105	大阪大学医学部附属病院	565-0871 吹田市山田丘2-15	06-6879-5111	1990	2008
277	137	関西電力病院	563-0003 大阪市福島区福島2-1-7	066-458-5821	1991	2009
278	138	N T T 西日本大阪病院	543-8922 大阪市天王寺区鳥ヶ辻2-6-40	06-6773-7111	1991	2009
279	139	大阪市立大学医学部附属病院	545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7	066-645-2121	1991	2009
280	140	大阪医科大学附属病院	569-8686 高槻市大学町2-7	0726-83-1221	1991	2009
281	167	淀川リハビリテーション病院	533-0032 大阪市東淀川区淡路2-9-26	06-6322-2250	1992	2010
282	211	星ヶ丘厚生年金病院	573-8511 枚方市星丘4-8-1	072-840-2641	1994	2008
283	236	医療法人早石会早石病院	543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町2-12	06-6771-1227	1996	2008
284	237	大阪赤十字病院	543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30	06-6774-5111	1996	2008
285	256	大阪府立急性期総合医療センター	558-8558 大阪市住吉区万代東3-1-56	06-6692-1201	1998	2010
286	258	高槻赤十字病院	569-1096 高槻市阿武野1-1-1	072-696-0571	1998	2010
287	284	大阪府済生会中津病院	530-0012 大阪市北区芝田二丁目10番39号	06-6372-0333	1999	2008
288	285	財団法人田附興風会医学研究所北野病院	530-8480 大阪市北区扇町2-4-20	06-6312-1221	1999	2008
289	286	医療法人相愛会相原第二病院	545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-12-10	06-6633-3661	1999	2008
290	288	近畿大学医学部堺病院	590-0132 堺市原山台2丁目7番1号	0722-99-1120	1999	2008
291	289	日野病院	599-8123 堺市北野田626	0722-35-0090	1999	2008
292	325	大阪厚生年金病院	553-0003 大阪市福島区福島4-2-78	06-6441-5451	2000	2009
293	326	市立枚方市民病院	573-1013 枚方市楚野本町2丁目14-1	072-847-2821	2000	2009
294	370	特定医療法人きつこう会多根総合病院	550-0024 大阪市西区境川1-2-31	06-6581-1071	2002	2008
295	394	大阪府済生会富田林病院	584-0082 富田林市向陽台1-3-36	0721-29-1121	2003	2009
296	396	財団法人日本生命済生会付属日生病院	550-0012 大阪市西区立売堀6-3-8	06-6543-3581	2003	2009
297	423	医療法人交詢会大阪リハビリテーション病院	599-0212 阪南市自然田940	0724-73-2000	2004	2010
298	425	特定医療法人三和会永山病院	590-0406 泉南郡熊取町大久保東1-1-10	0724-53-1122	2004	2010
299	458	医療法人愛仁会千船病院	555-5001 大阪市西淀川区佃2-2-45	06-6471-9541	2005	2008
300	459	市立堺病院	590-0046 堺市南安井町1-1-1	072-221-1700	2005	2008
301	500	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター	583-8588 羽曳野市はびきの3-7-1	0729-57-2121	2006	2009
302	501	市立岸和田市民病院	596-8501 岸和田市鞆原町1001	0724-45-1000	2006	2009

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
303	502	医療法人橘会東住古森本病院	546-0014 大阪市東住吉区鷹合3-2-66	06-6606-0010	2006	2009
304	503	関西医科大学附属枚方病院	573-1191 枚方市新町2-3-1	072-804-0101	2006	2009
305	535	医療法人温心会堺温心会病院	599-8273 堺市中区深井清水町2140-1	072-278-3166	2007	2010
306	536	医療法人寿楽会大野記念病院	550-0015 大阪市西区南堀江1丁目26-10	06-6531-1815	2007	2010
307	537	財団法人住友病院	530-0005 大阪市北区中之島5-3-20	06-6443-1261	2007	2010
308	538	りんくう総合医療センター市立泉佐野病院	598-8577 泉佐野市りんくう往来北2-23	0724-69-3111	2007	2010
<b>兵庫県</b>						
309	61	神戸大学医学部附属病院	650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2	078-382-5111	1989	2010
310	62	財団法人甲南病院加古川病院	675-8545 加古川市神野町西条1545-1	0794-38-0621	1989	2010
311	63	兵庫医科大学病院	663-8501 西宮市武庫川町1-1	0798-45-6111	1989	2010
312	238	姫路赤十字病院	670-8540 姫路市下手町1-12-1	0792-94-2251	1996	2011
313	259	関西ろうさい病院	660-8511 尼崎市稲葉荘3-1-69	06-6416-1221	1998	2010
314	260	三木市立三木市民病院	673-0402 三木市加佐58-1	0794-83-5000	1998	2010
315	261	神戸救済会病院	655-0004 神戸市垂水区学が丘1丁目21-1	078-781-7811	1998	2010
316	302	医療法人聖医会使用中央病院	679-5383 使用郡使用町使用3529-3	0790-82-2154	1997	2009
317	327	神戸赤十字病院	651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1-3-1	078-231-6006	2000	2009
318	328	財団法人甲南病院 六甲アイランド病院	658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目11	078-858-1111	2000	2009
319	347	公立学校共済組合近畿中央病院	664-0872 伊丹市車塚3-1	0727-81-3712	2001	2010
320	372	医療法人社団新日鐵広畑病院	671-1122 姫路市広畑区夢前町3-1	0792-36-1038	2002	2008
321	375	松原メイフラワー病院	673-1462 加東郡社町藤田字東山944-25	0795-42-8851	2002	2008
322	420	神戸市立中央市民病院	650-0046 神戸市中央区港島中町4-6	078-302-4321	2004	2010
323	460	鐘紡記念病院	652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1	078-681-6111	2005	2008
324	461	独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院	669-1515 三田市大原1314	079-563-2121	2005	2008
325	462	医療法人社団松本会松本病院	675-0039 加古川市加古川町薬津232-1	0794-24-0333	2005	2008
326	504	宝塚市立病院	665-0827 宝塚市小浜4丁目5番1号	0797-87-1161	2006	2009
327	539	医療法人仁寿会石川病院	671-0221 姫路市別所町別所2丁目150	079-252-5235	2007	2010
328	540	医療法人橘和会公文病院	653-0021 神戸市長田区梅ヶ香町1-12-7	078-652-3201	2007	2010
329	541	兵庫県立塚口病院	661-0012 尼崎市南塚口町6-8-17	06-6429-5321	2007	2010
<b>奈良県</b>						
330	142	奈良県立医科大学附属病院	634-8522 橿原市四条町840	0744-22-3051	1991	2009
331	330	近畿大学医学部奈良病院	630-0293 生駒市乙田町1248-1	0743-77-0880	2000	2009
332	371	医療法人ひのうえ会橘上病院	634-0007 橿原市葛本町701	0744-23-1185	2002	2008
<b>和歌山県</b>						
333	108	和歌山県立医科大学附属病院	641-0012 和歌山市紀三井寺811-1	073-447-2300	1990	2008
334	542	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター	646-8558 田辺市たきない町27-1	0739-26-7050	2007	2010
<b>鳥取県</b>						
335	67	鳥取大学医学部附属病院	683-8504 米子市西町36-1	0859-33-1111	1989	2010
336	262	社団法人鳥取県中部医師会立三朝温泉病院	682-0197 東伯郡三朝町山田690	0858-43-1321	1998	2010
337	378	鳥取赤十字病院	680-0017 鳥取市尚徳町117番地	0857-24-8111	2002	2008
<b>島根県</b>						
338	66	島根大学医学部附属病院	693-8501 出雲市塩冶町89-1	0853-23-2111	1989	2010
339	197	玉造厚生年金病院	699-0293 松江市玉造町湯町1-2	0852-62-1560	1993	2008
340	463	松江赤十字病院	690-8506 松江市母衣町200番地	0852-24-2111	2005	2008
341	465	島根県立中央病院	693-8555 出雲市姫原4-1-1	0853-22-5111	2005	2008
<b>岡山県</b>						
342	64	医療法人和香会倉敷広済病院	712-8044 倉敷市東塚5-4-16	086-455-5111	1989	2010
343	109	岡山大学医学部歯学部附属病院	700-8558 岡山市豊田町2-5-1	086-223-7151	1990	2008
344	143	総合病院岡山市立市民病院	700-8557 岡山市天瀬6-10	086-225-3171	1991	2009
345	171	財団法人倉敷成人病センター	710-8522 倉敷市白楽町250	086-422-2111	1992	2010
346	172	川崎医科大学附属病院	710-0061 倉敷市松島577	086-462-1111	1992	2010
347	263	金光病院	719-0104 浅口市金光町古見新田740	0865-42-3211	1998	2010
348	290	倉敷市立児島市民病院	711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地	086-472-8111	1999	2008
349	331	独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター	701-0304 都窪郡早島町早島4066	086-482-1211	2000	2009
350	376	岡山赤十字病院	700-8607 岡山市青江2-1-1	086-222-8811	2002	2008
351	377	独立行政法人労働者健康福祉機構岡山労災病院	702-8055 岡山市築港緑町1-10-25	086-262-0131	2002	2008
352	397	倉敷中央病院	710-8602 倉敷市美和1-1-1	086-422-0210	2003	2009
353	505	慈風会津山中央病院	708-0841 津山市川崎1756	0868-21-8111	2006	2009
<b>広島県</b>						
354	101	広島大学病院	734-8551 広島市南区霞1-2-3	082-257-5555	1990	2010
355	196	尾道市立市民病院	722-8503 尾道市新高山3-1170-177	0848-47-1155	1993	2008
356	212	東広島記念病院 リウマチ膠原病センター	739-0002 東広島市西条町吉行2214	0824-23-6661	1994	2009
357	239	公立みつぎ総合病院	722-0393 尾道市御調町124番地	0848-76-1111	1996	2008
358	264	広島市立広島市民病院	730-8518 広島市中区基町7-33	082-221-2291	1998	2010
359	348	県立広島病院	734-8530 広島市南区宇品神田1-5-54	082-254-1818	2001	2010
360	349	公立学校共済組合中国中央病院	720-0001 福山市御幸町大字上岩成148番13	084-970-2121	2001	2010
361	427	広島県厚生連JA広島総合病院	738-8503 廿日市市地御前1丁目3-3	0829-36-3111	2004	2010
362	428	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	739-0036 東広島市西条町大字田口295-3	082-425-1455	2004	2010

# INFORMATION

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
<b>広島県</b>						
363	506	日立造船健康保険組合因島総合病院	722-2323 尾道市因島土生町2561番地	0845-22-2552	2006	2009
364	507	広島赤十字・原爆病院	730-8619 広島市中区千田町1-9-6	082-241-3111	2006	2009
365	543	広島クリニック観音	733-0032 広島市西区東観音20-16	082-232-0707	2007	2010
<b>山口県</b>						
366	226	山口大学医学部附属病院	755-8505 宇部市南小串1-1-1	0836-22-2266	1995	2010
367	265	宇部協立病院	755-0005 山口県宇部市五十日山町16-23	0836-33-6111	1998	2010
368	332	下関市立中央病院	750-8520 下関市向洋町1-13-1	0832-31-4111	2000	2009
369	351	山口県立総合医療センター	747-8511 防府市大崎77番地	0835-22-4411	2001	2010
370	466	総合病院山口赤十字病院	753-8519 山口市八幡馬場53-1	083-923-0111	2005	2008
371	544	総合病院社会保険徳山中中央病院	745-8522 周南市孝田町1-1	0834-28-4411	2007	2010
<b>徳島県</b>						
372	379	徳島大学病院	770-8503 徳島市蔵本2-50-1	088-631-3111	2002	2008
373	467	医療法人美摩病院リウマチセンター	776-0013 古野川市鶴島町上下島497	0883-24-2957	2005	2008
374	545	東洋病院	770-0051 徳島市北島田町1丁目160-2	088-632-7777	2007	2010
375	546	三好市国民健康保険市立三野病院	771-2304 三好市三野町芝生1270番地30	0883-77-2323	2007	2010
<b>香川県</b>						
376	173	香川大学医学部附属病院	761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	087-898-5111	1992	2010
377	241	独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院	763-8502 丸亀市城東町3-3-1	0877-23-3111	1996	2008
378	291	医療法人財団博仁会キナシ大林病院	761-8024 高松市鬼無町藤井435-1	087-881-3631	1999	2008
379	464	屋島総合病院	761-0433 高松市屋島西町1857-1	087-841-9141	2005	2008
380	508	さぬき市民病院	769-2393 さぬき市寒川町石田東甲387番地1	0879-43-2521	2006	2009
381	547	香川県立中央病院	760-8557 高松市番町5丁目4番16号	087-835-2222	2007	2010
<b>愛媛県</b>						
382	68	愛媛大学医学部附属病院	791-0295 東温市志津川	089-964-5111	1989	2010
383	69	道後温泉病院リウマチセンター	790-0858 松山市道後姫塚2-21-21	089-933-5131	1989	2010
384	70	松山赤十字病院 リウマチセンター	790-8524 松山市文京町1	089-924-1111	1989	2010
385	292	医療法人社団慈生会松山城東病院	790-0915 松山市松末2丁目19番36号	089-943-7717	1999	2008
<b>高知県</b>						
386	227	高知大学医学部附属病院	783-8505 南国市岡豊町小蓬	088-866-5811	1995	2010
387	242	医療法人緑風会海星?リ?病院	781-0112 高知市仁井田1617-5	088-847-0101	1996	2008
388	380	独立行政法人国立病院機構高知病院	780-8077 高知市朝倉西町1-2-25	088-844-3111	2002	2008
389	468	医療法人元湧会吉井病院	787-0033 四万十市中村大橋通6-7-5	0880-34-5005	2005	2008
<b>福岡県</b>						
390	71	久留米大学病院	830-0011 久留米市旭町67	0942-35-3311	1989	2008
391	78	福岡大学病院	814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1	092-801-1011	1990	2008
392	144	九州大学医学部附属病院	812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	092-641-1151	1991	2009
393	175	独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院	800-0296 北九州市小倉南区基原高松1-3-1	093-471-1121	1992	2010
394	176	産業医科大学病院	807-8555 北九州市八幡西区医学生ヶ丘1-1	093-603-1611	1992	2010
395	198	宗像医師会病院	811-3431 宗像市田熊5-5-3	0940-37-1188	1993	2008
396	199	福岡島病院	814-0103 福岡市城南区島島6-8-5	092-831-6031	1993	2008
397	213	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	810-8563 福岡市中央区地行浜1-8-1	092-852-0700	1994	2009
398	214	久留米大学医療センター	839-0863 久留米市国分町155-1	0942-22-6111	1994	2009
399	228	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	801-8502 北九州市門司区東港町3-1	093-331-3461	1995	2010
400	381	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	830-8543 久留米市津福本町422	0942-35-3322	2002	2008
401	429	独立行政法人国立病院機構福岡病院	811-1394 福岡市南区星形原4丁目39-1	092-565-5534	2004	2010
402	469	片井整形外科病院	811-2302 粕屋町大隈132-1	092-938-4860	2005	2008
403	470	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	810-8539 福岡市中央区鶴橋3-5-27	092-721-0831	2005	2008
404	471	早良病院	819-0002 福岡市西区筥浜2-2-50	092-881-0536	2005	2008
405	509	飯塚病院	820-8505 飯塚市芳雄町3-83	0948-22-3800	2006	2009
406	510	福岡通徳病院	810-8798 福岡市中央区薬院2-6-11	092-741-0300	2006	2009
407	548	公立学校共済組合九州中央病院	815-8588 福岡市南区塩原3-23-1	092-541-4936	2007	2010
408	549	直方中央病院	822-0001 直方市感田523番地5	0949-26-2311	2007	2010
409	550	福岡県済生会八幡総合病院	805-0050 北九州市八幡東区春の町5-9-27	093-662-5211	2007	2010
<b>佐賀県</b>						
410	145	佐賀大学医学部附属病院	849-8501 佐賀市鍋島5-1-1	0952-31-6511	1991	2009
411	200	独立行政法人国立病院機構糟野医療センター	843-0393 糟野市糟野町大字下宿丙2436	0954-43-1120	1993	2008
<b>長崎県</b>						
412	146	長崎大学医学部附属病院	852-8501 長崎市坂本町1-7-1	095-849-7200	1991	2009
413	178	佐世保中央病院 リウマチ膠原病センター	857-1195 佐世保市大和町15	0956-33-7151	1992	2010
414	267	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	858-8582 大村市久原2-1001-1	0957-52-3121	1998	2010
415	294	日本赤十字社長崎原爆病院	852-8511 長崎市茂里町3-15	095-847-1511	1999	2008
416	295	健康保険諫早総合病院	854-8501 諫早市永昌東町24-1	0957-22-1380	1999	2008
417	334	ながさき内科・リウマチ科病院	850-0832 長崎市油屋町1-21	095-822-3151	2000	2009
418	472	医療法人尚整会骨整形外科病院	854-0034 諫早市小野町332	0957-23-2388	2005	2008
419	511	医療法人慧明会貞松病院	858-0831 大村市東本町537	0957-54-1161	2006	2009

一連 番号	認定 番号	施設名	郵便番号/住 所	電話番号	認定 年度	次回 更新年度
<b>熊本県</b>						
420	91	熊本整形外科病院	862-0976 熊本市九品寺1-15-7	096-366-3666	1990	2008
421	147	熊本大学医学部附属病院	860-8556 熊本市本荘1-1-1	096-344-2111	1991	2009
422	179	熊本リハビリテーション病院	869-1106 菊池郡菊陽町曲手760	096-232-3111	1992	2010
423	180	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	860-0008 熊本市二の丸1-5	096-353-6501	1992	2010
424	201	熊本市立熊本市民病院	862-8505 熊本市湖東1-1-60	096-365-1711	1993	2008
425	202	医療法人社団寿豊会熊本機能病院	860-8518 熊本市山室6-8-1	096-345-8111	1993	2008
426	203	玉名市外四ヶ町病院組合公立玉名中央病院	865-0064 玉名市中1950	0968-73-5000	1993	2008
427	353	熊本赤十字病院	862-8520 熊本市長嶺南2丁目1-1	096-384-2111	2001	2010
428	430	医療法人社団黎明会宇賀岳病院	869-0502 宇城市松橋町松橋1455-1	0964-32-3111	2004	2010
429	431	山鹿市立病院	861-0593 山鹿市大字山鹿511番地	0968-44-2185	2004	2010
430	512	独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院	861-1196 合志市須屋2659	096-242-1000	2006	2009
<b>大分県</b>						
431	72	大分大学医学部附属病院	879-5593 由布市換間町医大ヶ丘1-1	0975-49-4411	1989	2010
432	73	九州大学病院別府先進医療センター	874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546	0977-27-1600	1989	2010
433	148	独立行政法人国立病院機構別府医療センター	874-0011 別府市内かまど1473	0977-67-1111	1991	2009
434	181	大分赤十字病院	870-0033 大分市千代町3-2-37	097-532-6181	1992	2010
<b>宮崎県</b>						
435	74	宮崎大学医学部附属病院	889-1692 宮崎郡清武町大字木原5200	0985-85-1510	1989	2010
436	268	宮崎県立宮崎病院	880-0017 宮崎市北高松町5-30	0985-24-4181	1998	2010
437	269	医療法人善仁会市民の森病院	880-0122 宮崎市大字塩路2783-37	0985-39-7630	1998	2010
438	270	独立行政法人国立病院機構都城病院	885-0014 都城市祝吉町5033-1	0986-23-4111	1998	2010
<b>鹿児島県</b>						
439	182	鹿児島赤十字病院リウマチ膠原病センター	891-0133 鹿児島市平川町2545	099-261-2111	1992	2010
440	215	鹿児島大学医学部附属病院	890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5111	1994	2009
<b>沖縄県</b>						
441	382	豊見城中央病院	901-0243 豊見城市上田25	098-850-3811	2002	2008
442	513	琉球大学医学部附属病院	903-0215 中環郡西原町字上原207	098-895-3331	2006	2009
443	551	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	901-1193 南風原字新川118-1	098-888-0123	2007	2010



## 持続性抗炎症・鎮痛剤 《ナブメトン錠》

指定医薬品  

**レリフエン<sup>®</sup>錠**  
 RELIFEN<sup>®</sup> RELIFEN<sup>®</sup>400 (薬価基準収載)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元  
**株式会社 三和化学研究所**  
 SSK 本社：名古屋市東区東山町10番地 TEL:052-741-0601  
 ●ホームページ <http://www.ssk-net.com/>  
 経銷 **グラクソ・スミスクライン株式会社**

資料請求先・問い合わせ先  
 コンタクトセンター  
**0120-19-8130**  
受付時間 9時～20時(土・日・祝祭日)

**Modern Rheumatology オンライン・ファースト出版開始のお知らせ**

Letter From Editor-in-Chief

Modern Rheumatologyでは2008年よりオンライン・ファーストのサービスを開始いたします。オンライン・ファーストとは、アクセプトとなり校正が終了した論文から、順次オンラインで出版するサービスです。

オンライン・ファーストでは、1号分の論文が取りまとめられて冊子体で出版される前に、購読者は各論文を閲覧することが可能となります。このサービスにより、論文の出版までの時間はこれまでより大幅に短縮されます。

オンライン・ファーストで出版されるすべての論文には出版日と、国際識別コードであるDOI (digital object identifier) が記載されます。DOIは国際DOI財団 (<http://www.doi.org>) に登録されており、オンライン・ファーストで出版された論文は冊子体の出版前であっても、ジャーナル名とDOIを使っての論文の引用が可能です。DOIは変更されることがありませんので、たとえばオンライン・ファースト論文同士をハイパーリンクでつなぐことも可能です。また、冊子体にもDOIとオンライン出版日が記載されます。

オンライン・ファーストで出版された論文は公式な出版物ですので、後からの変更や取り下げはできません。修正が必要な場合にはErratumの形で掲載され、元の論文にハイパーリンクが張られます。

オンライン・ファーストの導入により、Modern Rheumatologyを益々ご利用いただければ幸いです。

MR編集委員会委員長 三森経世

(発行) シュプリンガー・ジャパン株式会社

**学会員専用ホームページのご案内**

## ◇会員専用ページをご利用ください

(中)日本リウマチ学会では学会ホームページ、メルマガを通じ、学会の情報をいち早く公開しております。特に「会員専用ページ」ではニュースレター、メルマガのバックナンバーのほか、学会英文誌Modern Rheumatology (MR) の過去5年間に掲載された論文のフルテキスト (PDFファイル) がご覧いただけるほか、最新号も冊子として公開される前に電子ジャーナルとしてご覧いただけます。また、学術集会や地域教育研修会での講演を収録したリウマチTVも視聴できますので、是非ご利用ください。会員専用ページは入会后、メールアドレスをご登録いただければどなたでもご覧いただけます。

## ◇メールアドレスをご登録ください

メールアドレスをご登録いただくと上記「会員専用ページ」へログインできるほか、毎月発行されるメールマガジンを受信できます。学会事務局 ([gakkaim@ryumachi-jp.com](mailto:gakkaim@ryumachi-jp.com)) までお持ちのメールアドレスをご連絡ください。

## \*Yahoo、hotmailなどのフリーメールでご登録の会皆様へ

学会からのメールが「迷惑メールフォルダー」に振り分けられてしまうことが確認されています。その場合、「迷惑メールフォルダー」に振り分けられたメールを選択し「迷惑メールフォルダーから除外する (または迷惑メールではない)」の設定を行ってください。一度設定すると次回から正常に受信できるようになります。

※新規にメールアドレスをご登録、または変更される場合、フリーメールアドレス以外での申請を推奨します。

## ◇会員専用ページへのパスワード登録とログインの手順

- (1) すでにメールアドレスを登録されている方、学会に新規にメールアドレスを登録された方は、学会Webサイト右上の「会員専用ページ」をクリックし、「ログインが初めての方は」に記述されている手順に従いパスワードの設定を行ってください。
- (2) パスワード設定後、学会Webサイト右上の「会員専用ページ」をクリックし、学会に登録しているメールアドレスと、上記(1)の手順で設定したパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックすると、「会員専用ページ」がご覧いただけます。

その他、ご不明な点がございましたら学会事務局までお問い合わせください。

メールアドレス登録送付先 (問合せ) : [gakkaih@ryumachi-jp.com](mailto:gakkaih@ryumachi-jp.com)

血清中の抗ガラクトース欠損IgG抗体測定用医薬品

[検体検査実施料収載]

日本標準商品分類番号 877449

# ピコルミ<sup>®</sup> CA・RF

体外診断用医薬品

承認番号 21100AMZ00670000

〈電気化学発光免疫測定法—ECLIA法〉



## RAの早期診断補助に

### 【特性】

- 1 早期RA患者において、従来のリウマトイド因子(RF)測定法に比較し、優れた陽性率です。
- 2 従来のRF測定法で陰性のセロネガティブRA患者でも陽性率が高く有用です。
- 3 RA患者の症状改善、悪化に伴い従来法に比べて測定値が有意に変動します。
- 4 ピコルミCA・RFは自動測定が可能であり、広い測定レンジ(1~500AU/mL)を短い時間(反応時間約20分)で測定できます。
- 5 ピコルミCA・RFはエイテストCA・RF(EIA法)と良く相関します。

※効能・効果、操作法、使用上の注意については添付文書をご参照下さい。

製造販売元  **三光純薬株式会社**  
東京都千代田区岩本町1-10-6

販売提携  **エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10  
<http://www.eisai.co.jp>

●巻頭言	
人工関節手術と感染	豊島 良太 1
●JCR2008	2~5
JCR2008プログラム、参加登録、ポスター発表	
第17回 国際リウマチシンポジウム 2008年開催に向けて	
●コラム	吉川 秀樹 6
●ACR大会参加報告	飯訪 昭 7
●開業医からの視点	金山 良春/桃井 康晴 8~9
●理事会・委員会報告	10~11
●各支部だより 関東支部/中部支部/近畿支部	12~14
●専門医試験の案内	14
●日本リウマチ学会入会申込書	16
●全国中央教育研修会大阪大会の報告/地域教育研修会(支部集会)の報告	17・20
●支部学術集会と地域教育研修会の案内	21
●若手からの意見	横田 和浩/立石 耕司 22
●留学体験記	森 幹二/山前 正臣 24~25
●INFORMATION 教育施設一覧	28~31
●MR・HPの案内	34
●目次・編集後記・奥付	36

- ★節足というのに関東平野部は紅葉はまだ見頃です。地球温暖化で「秋」の訪れは遅くなり、そのうち関東でも「冬」はなくなるかもしれません。再生医療が進めば人生の「冬」もなくなるのでしょうか？ さてニュースレターは今回16号を数えますが、号は重ねてもまだ「早春」の段階です。これから爽やかな「秋」に向かってより良い情報媒体とするために、会員の皆様のご意見をお待ちしております。（天野宏一）
- ★先日の新聞報道で生物学的製剤による死亡例の報道がありました。いつもの事ですが、コントロールも示されず「ただ患者様の心配を煽るだけの報道の仕方」には疑問を感じます。海外では生命予後が伸びた結果も示されており、臨床の場でもその有効性を我々は実感しています。今後とも学会を通して広く世間に事実を伝える必要があると思います。（桃原茂樹）
- ★今号も多方面の先生方から届いた玉藕がそろい踏みです。リウマチ膠原病学は離しそうだからと入局をしぶる研修医も一説すれば、この分野は将来性があるとおもしろいと感じてもらえるのではないのでしょうか。リウマチ専門医を目指す若き医師がひとりでも多く誕生するきっかけになってほしい。彼らが目のつくところにニュースレターをそっと置き、興味を示して手にとるのをじっと待つ…。釣り人の心境です。（淺沼ゆう）
- ★近年、リウマチ・膠原病治療の進歩は著しい。多くの免疫抑制剤や生物学的製剤が開発され使用可能となり、寛解「治る」を目指すことが現実的な目標となった。その一方で、治療費用、長期安全性、副作用などの問題も残されている。中でも感染症は古くて新しい重要な問題である。治療を受けている患者さんの感染症は、健康者のものとは少し異なり治療に難渋することも多い。「治る」を目指すためには疾患制御だけでなく感染制御にも積極的に取り組む必要があることを実感する。（武内 徹）
- ★阪神淡路大震災で犠牲になられた方々の鎮魂と、街の復興を願って始められた神戸ルミナリエは、この冬で、13回目を迎えました。時間の経過の早さには、驚くばかりです。まもなく迎える新年が、皆様にとって良い一年となりますようにお祈り申し上げます。（三浦靖史）

## ●ご意見をお聞かせください

Newsletter「リウマチ」では会員の皆様のご意見・ご要望を募集しております。下記メールアドレスまでお寄せください。  
E-mail: nl@ryumachi-jp.com

- 情報化委員会 担当理事：木村友厚  
ニュースレター小委員会 委員長：天野宏一/副委員長：桃原茂樹/委員：淺沼ゆう・武内徹・三浦靖史

ニュースレター 2007年・第16号 発行日2007年12月20日  
発行者 有限責任中間法人 日本リウマチ学会  
〒102-0001 東京都港区虎ノ門1-1-24 オカモトヤビル9F  
TEL: 03-5251-5353 FAX: 03-5251-5354  
E-mail: gakkaim@ryumachi-jp.com URL: http://www.ryumachi-jp.com

デザイン・制作 クリエイトM2 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-5  
TEL: 03-5215-6560 FAX: 03-5215-6560 E-mail: creat-m2@sea.plala.or.jp

印刷社 山下印刷(有) 〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-4  
TEL: 03-3591-1025 FAX: 03-3591-0846



完全ヒト型可溶性TNF $\alpha$ /LT $\alpha$ レセプター製剤 薬価基準収載

# エンブレル<sup>®</sup>皮下注用25mg

ENBREL<sup>®</sup> 25mg for S.C. Injection エタネルセプト(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品 創薬 指定医薬品 処方せん医薬品<sup>※1</sup> 注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

**注意** 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

**Wyeth**

製造販売元  
**ワイズ株式会社**  
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号  
<http://www.wyeth.jp/>

販売  
**武田薬品工業株式会社**  
〒540-8646 大阪市中央区道頓堀西1丁目1番1号  
<http://www.takeda.co.jp/>

資料請求先:ワイズ株式会社 ワイスくすりの情報室 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号



抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

**レミケード**点滴静注用100

REMICADE<sup>®</sup> for I.V. Infusion100

インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤

【生物由来製品】 【製剤】 【追加製剤】 【処方せん医薬品】 (2歳-12歳未満の処方せんにより使用すること)

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)  
**田辺三菱製薬株式会社**  
 大阪市中央区道修町3-2-10

2007年10月作成

2007年10月1日より田辺製薬と三菱ウェルファーマは田辺三菱製薬に